

令和6年度
埼玉県「性に関する指導」
課題解決支援事業 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和7年3月

埼玉県教育委員会

はじめに

近年、ますます加速する社会状況の変化により、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する諸課題、新たな感染症など、児童生徒等の心身に影響を与える様々な健康課題が生じています。このような健康課題の解決を図るためにも、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うことを目指した学校における健康教育は重要な役割を担っています。

また、児童生徒を性暴力の加害者にも被害者にも傍観者にもさせない取組が全国的に進められています。

学校における「性に関する指導」は、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的として、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて行われています。とりわけ、体育科、保健体育科の保健の授業で行われる「性に関する指導」は、健康教育を効果的に推進する上で大変重要です。

本報告書は、埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業における令和6年度の取組の概要や成果等についてまとめております。今年度は、外部講師を活用した実践や、外部講師を活用するとしたら、どの場面でどのような役割をお願いすることができるのかということについても検討いたしました。すべての学校において、掲載の指導実践例等を活用していただき、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校全体の共通理解の下、保護者の理解を得ることに配慮しながら、集団指導と個別指導の連携を効果的に行うなど、「性に関する指導」の充実が図られることを期待します。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、「性に関する指導」課題解決検討委員の皆様をはじめ、実践発表、授業研究会等に御協力いただきました、各小中高等学校並びに関係教育委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後もお一層の御指導・御協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年3月

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長
萩原 篤大

目 次

I	埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について	
1	事業の趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	事業の成果と課題	3
5	令和7年度の事業予定について	19
II	埼玉県「性に関する指導」指導者研修会	20
III	埼玉県「性に関する指導」授業研究会	45
1	小学校部会 本庄市立藤田小学校	46
2	中学校部会 加須市立昭和中学校	67
3	高等学校部会 県立進修館高等学校	79
IV	埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会	88
1	設置要綱	88
2	委員名簿	90

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨

- 発達の段階に応じた効果的な「性に関する指導」を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を立ち上げ、効果的な指導法の研究・普及・実践を行うこと。
- ・課題解決検討委員を講師として、「知識を活用した保健学習ー性に関する指導編・感染症編ー」及び「保健教育参考資料 なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー」を活用した指導者研修会及び授業研究会を実施する。
 - ・発達の段階に応じた「性に関する指導」について研究する。
 - ・「性に関する指導」に携わる教員等を指導する指導者養成を兼ねる。

2 事業内容

- (1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会
- (2) 「性に関する指導」指導者研修会
- (3) 「性に関する指導」授業研究会

3 実施内容

- (1) 課題解決検討委員会について

- ア 第1回課題解決検討委員会 令和6年6月18日(火) オンライン会議
 - ・埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会について
 - ・日程確認、役割(校種別)分担について
 - ・「知識を活用した保健学習ー性に関する指導編・感染症編ー」及び「保健教育参考資料なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について・日程確認、役割(校種別)分担について
 - ・「知識を活用した保健学習ー性に関する指導編・感染症編ー」「保健教育参考資料なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について
- イ 第2回課題解決検討委員会 令和6年8月27日(火) オンライン会議
 - ・授業研究会の指導案検討(各部会)
 - ・授業研究会の役割分担(各部会)
- ウ 第3回課題解決検討委員会 各校種での授業研究会
 - ・授業研究会の運営、指導助言(発達の段階に応じた性に関する授業の実践研究)
- エ 第4回課題解決検討委員会 令和7年2月4日(火) オンライン会議
 - ・事業実施報告(検討委員会、指導者研修会、授業研究会)
 - ・次年度の研究の方向性
 - ・部会別協議

- (2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 趣旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

イ 開催日時 令和6年8月6日(水) 13時20分から16時30分まで

ウ 開催方法 Zoomによるオンライン開催

エ 参加対象者

- ・公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員(管理職・体育・保健体育科担当教職員・養護教諭・保健主事等)
- ・市町村教育委員会の指導主事

オ 内容

・行政説明

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上三四郎

・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」
(イ) 思春期の体の変化
八潮市立八幡小学校 教諭 藤田 晃輔

中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」
(イ) 生殖に関わる機能の成熟
志木市立志木中学校 養護教諭 力丸真智子

高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康
県立北本高等学校 教諭 川尻鈴ノ介

・講演

「学習指導要領に基づく性に関する指導の考え方と進め方
～教科等横断的な視点を加えて～」

講師 東京学芸大学 教育学研究科 教職大学院 保健体育教育サブプログラム
教授 佐見 由紀子 氏

(3) 「性に関する指導」授業研究会

効果的な指導方法の実践研究を行う。

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を行うための指導方法の実践研究
 - ・「性に関する指導」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。
 - ・発達の段階に応じて、外部講師を活用した指導について研究を行う。

【構造化された授業の提案】

- ・学習内容の明確化(1時間1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明確な授業)
- ・基礎的・基本的な知識の習得と、知識を活用する学習活動の取組
- ・学習内容を主体的に取り組みさせるための教材化
- ・主体的・対話的で深い学びの実現

ア 小学校部会授業研究会

令和6年11月27日(水) 本庄市立藤田小学校

第4学年「体の発育・発達」(ア) 体の発育・発達

教諭 井上 実香(T1)

養護教諭 塩澤美保子(T2)

イ 中学校部会授業研究会

令和6年10月16日（水） 加須市立昭和中学校

第3学年「健康な生活と疾病の予防」性感染症とその予防

教 諭 久保 あかね

ウ 高等学校部会授業研究会

令和6年10月23日（水） 県立進修館高等学校

第1学年「現代社会と健康」（イ）現代の感染症とその予防

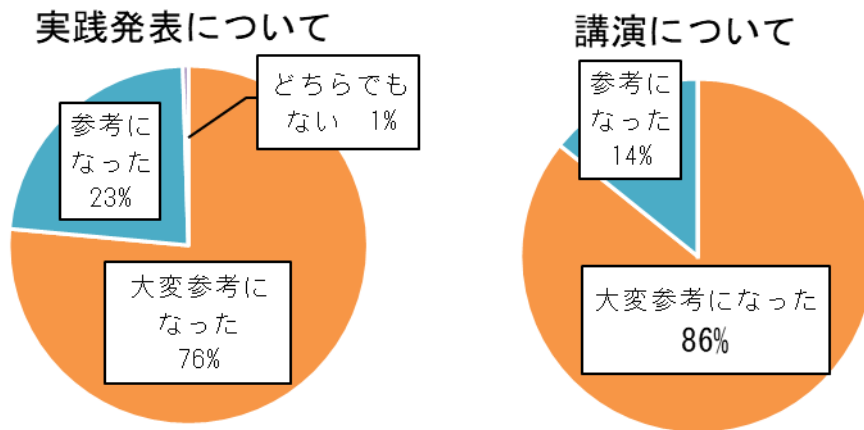
性感染症・エイズとその予防

教 諭 梨本 雄太

4 事業の成果と課題

(1) 「性に関する指導」指導者研修会について

<参加者アンケートより>



【実践発表について】 ※一部抜粋

- ・性教育を行うにあたって、知識伝達型の授業になってしまい、どのように対話や深い学びを実践できるのかと思っていました。伝えたいことは簡潔にし、得た知識をもとに悩んでいる友達の事例にアドバイスをするといいというのはとてもよいと思い、大変参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導、生命の安全教育については養護教諭として専門性を活かして授業に関わりたい気持ちがありながらも指導内容や指導方法に悩んでいました。具体的な実践例を見られたことで導入の工夫や指導内容の明確化がとても参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・指導内容について、自分ごととして捉えさせることが難しいと感じているので、参考になりました。また、保護者の方にも協力を得て家庭で話してもらおうという実践が素晴らしいと感じました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の事例研修で、吹き出しを活用することやアンケートをグラフ化するだけでなく、別の視覚化のやり方があることがとても子供に解りやすいと感じた。(小学校・養護教諭)
- ・小、中、高と繋がり的重要性を再確認しました。また、中学校での保護者と一緒に性教育を進める取り組みは素晴らしく、参考にさせていただきたいと思いました。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校4年生の第3時の授業をすることが多く、他の先生方がどのように授業を進めているのかとても関心がありました。また、自分の授業に自信を持ってないこともありまし

た。導入や自分事としてとらえることへの導き方などとても勉強になりました。

(小学校・養護教諭)

- ・性教育と聞くと、漠然と、難しいと考えてしまっていたのですが、各学校の具体的な授業のお話を聞いたことで、特別な配慮事項があるだけで授業準備や授業運営は変わらないんだなと気がつきました。どの学校も児童の実態を大事にした工夫が見られ、性教育後の手応えも感じてらっしゃったので、本校でも事前のアンケートや保護者等との連携をしていきたいです。(小学校・養護教諭)
- ・保健の授業は、時代背景や子ども一人一人の理解度や事情、家庭状況など様々な側面から組み立てていく必要があるということや、実際にこれらを踏まえた保健教育の実践法について理解が深まったため。(小学校・養護教諭)
- ・保護者の意見も QR コードを活用しているところ。(小学校・養護教諭)
- ・授業で実際に養護教諭が説明した内容を知ることができたので、自校での実践に取り入れていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・自分の指導に自信がなかったのが、自分事としてとらえる方法や漫画を活用する点などとても参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・今まで教科書の内容を網羅する授業をしていました。学習指導要領に則った最低限の説明に絞ることで、授業の工夫が広がるのかなと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・具体的にどのように保護者を巻き込むか、こういった課題設定で行うかなどが参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校4年生の担任をしており、夏休み明けに保健の学習があり参考になりました。ケーススタディをやってみようと思いました。(小学校・教諭)
- ・成果と課題を明確に提示されていたので今後の本校の指導時の参考になるとと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・今年度後期に校内初任者研修の一環として養護教諭による性に関する指導の実施を予定しており、授業の展開や扱う内容について大変悩んでいたため、実際の事例を聞くことができよかったです。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の実践において、教科書を教えるのではなく、学習指導要領の内容に基づいて指導するという点がとても良かったです。また、導入の部分のマンガ吹き出しクイズは自分事としてとらえるのに有効だと思いました。なかなか考えにくい児童にもやりやすい方法だなと思ったので他の指導にも活動してみたいと思いました。ケーススタディの実践では ICT を活用したりして児童の話合いの時間を増やしてやってみたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・各校の実態とともに、指導内容を知ること、どんな効果があり、さらにどんな課題があがったのか知ることができ大変勉強になった。志木中学校での取り組みのロールプレイングでは、実際にシミュレーションを経験することで、実践的な学びとなる興味深い内容だと感じた。また、どの学校にも共通している点が、自分ごととしてとらえることだと気づき、生命の安全教育の観点以外の場でも重要なことであると感じた。(小学校・養護教諭)
- ・実際の授業の流れを説明していただけたので、今後には生かしていきたいと思った。小学校での T.T では、養護教諭からの説明は内容を精選し、必要なことだけを伝えたとのことで、自分も今後の授業では意識していきたいと思った。(小学校・養護教諭)
- ・性のことは扱いにくいと感じる学級担任も多いと思うので、養護教諭が参画して知識を伝えることや、子どもに考えさせる発問が重要であることを学ぶことができたため。(小学校・養護教諭)
- ・小中高どの先生も、『自分ごとと捉えて学習する大切さ』についてお話しされていて、重要な視点だと感じました。本校でも全学年で『いのちの学習』を実践しようとして動いてい

- るところなので、先生方の実践が参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・内容の取捨選択と個別最適化を取り入れた内容が参考になりました。(小学校・養護教諭)
 - ・今年度、熊谷市の性教育の指導案を新たに作るにあたり、生命の安全教育の入れ方や参考となる資料等を教えていただきありがとうございます。(小学校・養護教諭)
 - ・事前アンケートの大切さや実態把握、また、担任ではない先生による授業など、参考になることが多かった。(小学校・養護教諭)
 - ・中学校の発表で保護者の同意を取る所がとても参考になりました。(小学校・養護教諭)
 - ・教材やワークシートの内容・ICT の活用法など、とても参考になりました。保護者との連携では ICT を効果的に活用することで、より密に連携できると感じたので積極的に活用していきたいです。また、アンケート等から実態を把握し、入念な指導計画を立てることが非常に大切だと思いました。発達段階に合わせて内容を吟味し、最終的には社会へ出たときに糧となる指導を心がけていきたいです。(小学校・養護教諭)
 - ・それぞれの実践発表は、基本に忠実に丁寧に授業を行っている様子がかげえませんでした。さらに発展させていくという考え方もあるが、段階を踏まえてといった考え方も改めて大切だと感じた。(中学校・養護教諭)
 - ・授業時数の問題の中で、取り組むためには学校研修課題にしない限りなかなか難しいが、J a m b o a r d を使ったりすれば取り組みもそんなに大変なことではないと思えました。また、一方的に聞くだけではなく、活動が入ることで生徒も理解しやすいのかと思いました。(中学校・養護教諭)
 - ・決められた授業時数の中で、志木中の ICT とロールプレイを取り入れた授業実践が非常に参考になったから。(中学校・管理職)
 - ・小学校では、学習指導要領に則り伝える内容を精査し、できるだけ簡潔にする工夫があり、つい情報を盛り込んでしまいがちになってしまうのでしっかり伝えるためにも内容の精査は大切だと実感しました。また、グループワークやロールプレイにより、相手の考えを実感する学習は大変参考になりました。(中学校・養護教諭)
 - ・中学校の事例で保護者へグーグルフォームでアンケートを行う方法はとても参考になりました。また、テキストマイニングで生徒の理解度を比較すると、わかりやすく言葉の数が増えていることが見て分かり、本校でも実践したいと思いました。(中学校・養護教諭)
 - ・各学校内で、多くの先生方とも関わりながら性教育を行なっていってほしい事が分かりました。実践事例を参考にし、本校でも性教育を工夫して行なっていきたいと思います。本日はありがとうございました。(中学校・養護教諭)
 - ・2学期に授業をする予定であり、現在教材研究等をしていたところであったことから発表の内容はとても参考になりました。(中学校・養護教諭)
 - ・ロイロノートの活用やロールプレイの導入など大変参考になりました。(中学校・養護教諭)
 - ・先生方の授業実践で保護者や教職員も巻き込んだ授業や発表形式の授業などがあり、参考になった。(中学校・教諭)
 - ・中学校の性教育で目的としたことや、高校の最後は生徒の言葉でまとめさせるという点が参考になりました。(中学校・養護教諭)
 - ・指導案等についでいない内容が聞けたのですごく教材研究になりました。(中学校・教諭)
 - ・小中高校での性に関する指導を、系統立てて学ぶことができよかった。指導事例の具体的な内容は、自校で実践する際の参考となった。(中学校・養護教諭)
 - ・小中高の反復学習であると思うので、小・高の指導内容が知れて良かったです。(中学は現地で授業見学を昨年度いたしました。)藤田先生の発表であったアンケートの視覚化など面白いので中学でも活用できそうです。ワークシートやタブレットの選択肢を子どもに与えてあげる点も素敵だと思いました。「異性の言葉の意味の伝えかたが難しい時代になっている事」はとても共感しました。川尻先生の「ワークシートは穴埋めではなく、

気づいたことをメモできる書式で作成する」などすぐに実践できる事は取り入れたいです。(中学校・養護教諭)

- ・3つの異なる校種の実践を聞くことができ、大変勉強になりました。小学校での事例の中にあつた、割合を自身の学年の数に合わせて視覚化することが印象に残りました。自分ごととして捉えるために、どの内容どの校種でも実践できるため、今後生かしたいです。(中学校・養護教諭)
- ・自分は理科の教員なので、性についての授業がどのような内容で行われているのかよく知りませんでした。保健体育科や養護教諭にお任せするのではなく協力できるところは手伝いたいと感じました。(中学校・教諭)
- ・性教育という取り扱いが難しい内容の中で、様々な伝え方の工夫や教員・保護者・外部との関わり方を学べたため。(高等学校・教諭)
- ・課題を通して保護者と生徒が性について話し合う機会を作ることなど、性の指導に関する新たな視点を得ることができたため。(高等学校・養護教諭)
- ・義務教育世代の指導がとても必要だと思いました。(高等学校・教諭)
- ・高等学校だけでなく、小学校・中学校の指導事例もお聞きすることができ、性教育の繋がりを学べて大変勉強になりました。保護者と共に授業を作っていくという授業実践は大変興味深く、私も実践してみたいと考えました。(高等学校・教諭)
- ・小・中・高の取り組みを聞き、「自分事としてとらえる工夫」「家庭と協力する工夫」の実践例を聞くことができたから。(高等学校・養護教諭)
- ・アンケートの視覚化は生徒目線からすると非常にわかりやすいと感じた。(高等学校・教諭)
- ・学校種ごとに教える内容や程度が違うことを実感できたため。様々な発達段階で何を教えるか見ることはとても大切だと感じたため。(高等学校・養護教諭)
- ・毎年そうですが、すべての校種の取組を聞くことができて、大変貴重な機会になります。(高等学校・養護教諭)
- ・先生方がどのような実践を行っているのか、校種別に学ぶことができて良かった。特別支援学校での事例もあると嬉しいと思った。(特別支援学校・養護教諭)
- ・性教育実施時の保護者との共通理解の図り方や、アンケートの取り方、それを授業にどのように活用していくかについて大変参考になった。(特別支援学校・養護教諭)
- ・各学校種において、実態を捉えた狙いのある授業づくりのあり方について学ぶことができた。また、力丸先生の家とつなぐ性教育の展開の仕方をぜひ参考にしたいと思った。(特別支援学校・養護教諭)
- ・実際担任の先生方や保健体育の先生がどのような授業をしているのか、また、養護教諭はどのくらい関わるべきなのか知ることができ大変参考になりました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・特別支援学校小学部での今までの取り組みで、大切にしたいと確認してきたことが今日お話を伺って改めて大事だったと確認できました。また、新たに知り得た情報があり、今後、ぜひ参考にさせて頂きたいと思いました。ありがとうございました。(特別支援学校・教諭)
- ・事前アンケートやロイロノートの活用例など、具体的なアイデアを知ることができて大変参考になりました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・どの校種の指導事例も、より自分事として捉えられるよう、主体的に取り組めるよう様々な工夫がなされていて、とても参考になりました。また、性に関する指導は学校だけでなく家庭での取り組みも重要と感じますが、中学校の実践にあつた保護者と家庭で話し合い感想をもらうという取り組みは、学校での実践を知ってもらういい機会になると同時に家庭で性に関する話をするきっかけづくりになり、とても良い取り組みだと思いました。(教育委員会・指導主事等)

- ・各学校で行われている授業実践について、そのねらいや子供たちの様子、先生方の意図、実施後の変化などを含めて詳細にお聞かせいただき、今後の性に関する指導の充実に向けた指導の参考になりました。(教育委員会・指導主事等)

【講演について】 ※一部抜粋

- ・教科等横断的な視点で生命（いのち）の安全教育を進めていくことの重要性を再認識することができたため。(小学校・養護教諭)
- ・児童生徒の性に関する実態を知ることができました。子どもたちの性的関心は高まっているのかと思っていました。実際は性的関心があまりない子どもが増えていることを知りました。同時に性感染症は増加傾向にあるため、性についての行動は二極化しているのだと感じました。今後も実態をしっかりつかんで、子どもたちに合った指導をしたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・保健学習、性に関する指導、生命の安全教育…指導内容や目的等、勉強不足で曖昧な部分が多かったのですが、佐見先生のお話を伺い自分の中で整理することができました。また、子どもの性の現状を詳しく知ることができて、性に関する指導等の必要性を改めて感じました。養護教諭として他の職員にも情報発信や指導例を伝えられるよう努めていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・現在の子どもたちの性に関する実態を把握することができ、性への関心や経験の有無の傾向が変化していることが分かり、小学生から高校生、更にその先にかけて包括的な指導が必要だと感じた。教職員間で共通理解を図ることや、保護者の理解を得て、実施する必要があること実感することができた。(小学校・養護教諭)
- ・子供たちの性に関する現状を改めて知り、性教育の重要性を感じました。生命の安全教育についても、指導資料のみではやり辛さを感じていたので、プラスの資料を示していただけてありがたかったです。とても勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・忙しい中でも生命の安全教育について指導の時間を作っていこうと思いました。小学校4年生の保健の授業で時間をもらうことが多いので、時間をうまく使ってプライベートゾーンの話をしていきたいです。中学、高校とつなぐことも頭に入れたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・データをもとにした子どもたちの実態から、自校の子どもたちにどんな指導をするのか、何を学ばばよいのか、考えていくことが重要だと思いました。学校全体や保護者も巻き込んで、子どもたちが将来生きていくための力になる指導ができればと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・統計を踏まえた話はもちろん、性被害防止教育等の「生命の安全教育」についてなど、授業を行う上で必要不可欠な「根拠」を知ることができました。小学4年生に対してただ一般論を伝えるだけだと、性教育としても生命の安全教育としても子供達の中に浸透させることが難しいと思いますが、全国の調査で見えてきた現代の課題を基に、「同じように、本校でもこれだけの人が嫌な思いをしたことがあるよ。だから自分のことも相手のことも守っていこうね」と伝える授業ができると、現代の子供達に還元していけるのではないかと思います。(小学校・養護教諭)
- ・子どもたちが自分や他の人を大切に出来るようになるためには、性に関することについて出来るだけ詳しく教えていくべきだと考えていたが、子どもたちの、「まだ知りたくない」という気持ちを大切にするという観点を学ぶことができたため。また、他の教職員や、保護者との情報共有や指導内容の検討の必要性について理解を深めることができたため。(小学校・養護教諭)
- ・児童に学ばせなくても中々踏み込めなかったり、扱いつらかったりしますが、1人でやる

うとせずに養護教諭や保護者、外部講師等と一緒にできるといいなと思いました。ありがとうございました。(小学校・教諭)

- ・性に関する指導や『生命の安全教育』の必要な学年、年齢が低年齢化していることや、その必要性についても様々なデータやお話から実感することができたからです。(小学校・教諭)
- ・子どもたちの性の現状が提示され、指導内容を再度考え直す時期に来ていると感じました。また、生命の安全教育は本校では実施していませんでしたので、まずは教職員研修から始めていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・具体的に活用できる本や、アンケート内容、子どもたちの実態などが知ることができて、授業だけではなく保護者との会話やほけんだよりでの情報提供にも活用できる内容が盛りだくさんで助かりました。(小学校・養護教諭)
- ・今年度4年生の担任をしています。性教育については不安に感じている部分があったので、大変勉強になりました。時数との兼ね合いが難しいのが現状ですが、授業外でも時間をとり、子供たちがより安全に明るい未来を生きていけるようサポートしていきたいと感じました。(小学校・教諭)
- ・性に関する指導と合わせて生命の安全教育も積極的に取り組んでいくことの大切さを強く感じました。生命の安全教育についても全教職員の共通理解を図り、本校でも取り組んでいきたいです。心に響くご指導をいただき大変いい勉強になりました。丁寧なご指導をいただき本当にありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・性感染症の危険性や性に関しての情報格差の現状を知ることができた。また、指導前に実態を把握した上での学年での指導(生命の安全教育を含む)に加え、発達段階に応じて個別指導を行っていくことの必要性が理解できたから。(小学校・養護教諭)
- ・児童の実態について知ることができたことが良かったです。性に関する実態は、けがや病気と違って健康観察や児童との日常でのかかわりの中では目に見えて知ることが難しいと感じており、今回のような調査結果を用いて現状を知り、より本校の児童の実態に即した指導につなげていきたいと思えます。(小学校・養護教諭)
- ・全国調査の結果の集計を知ること、今後の生命の安全教育に活かしていくことができると感じるとともに、性への関心の減少が著しく、興味のない中で指導しても理解にはつながらず、やはり自分ごととして捉えることができるよう指導していくことが重要であると感じた。(小学校・養護教諭)
- ・性に関することは、自分を守ったり、相手のことを大切にしたりするととても大切なことだと改めて学びました。また、同じ養護教諭の立場の方からご講演いただき、自分自身の今後の指導の参考にさせていただきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導について、実態を捉えつつ先の発達段階を見据えて指導することが必要と感じました。また、学校で進めていく上での配慮事項等も勉強になりました。生命の安全教育については、安全教育的な内容も大きいと感じますが、性に関する内容も組み込みながら行ってみたいとも思いました。国際セクシュアリティガイドダンスも意識しつつ、実態に合わせてうまく学校に取り込みたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・自校の実態を把握した上で状況に応じて性教育を実施していくことが重要だと改めて知ることができ、これでよいという自信と今後の課題が見えたように思う。(小学校・養護教諭)
- ・生命の安全教育に関して学校としてどう取り組んでいけばよいか迷っていたため、情報を知ることができてよかった。また、近年の子どもたちの性に関する関心や、実際の行動の傾向を踏まえ、指導を行っていききたいと感じた。(小学校・養護教諭)
- ・データから実際の子どもの様子を知ることによって指導すべき事柄が見えてくることから、児童の実態を正確に把握する大切さを感じました。また生命の安全教育の具体的な指導方法や文部科学省教材の活用方法などをお話いただき、今後の取組に生かしていきたいと思いまし

- た。(小学校・養護教諭)
- ・保護者への同意の取り方が参考になりました。多くの先生や保護者が参観できる体制作りが進めていく上で大切だと思った。(小学校・養護教諭)
 - ・「おしえてくもくん」の教材を初めて知りました。水泳指導前、プライベートゾーンなどどのように伝えたらわかってもらえるか難しかったので、今後ぜひ活用したいと考えました。(小学校・教諭)
 - ・性教育を行うとき、どこか他人事、自分のことではないように感じる児童がいるけれど、実践や体験を通して自分事として捉えることは大切だと感じた。今後、資料や実践事例等を活用して自分事として捉えられるような授業づくりをしていきたいと思った。(小学校・養護教諭)
 - ・生命の安全教育について勉強不足のところがあったので、職員と共有の仕方や時間の取り方等が具体的にわかりました。(小学校・養護教諭)
 - ・たくさんの資料から具体的に示していただき、とても勉強になりました。事前の準備から周囲を巻き込み、家庭を巻き込んで動いていく手順をまなぶことができました。(小学校・養護教諭)
 - ・現在の子供たちの性に関する実態を、データをふんだんに交えてご解説いただき、自分のなかでの「子供たちへの性の意識」がアップデートされました。また講演中、先生が何度も繰り返されていた「実態把握」。つい、教えたい気持ちが先行してしまいましたが、子供たちの実態をしっかりと把握して、真の学びとなる授業を展開したいと思いました。本日はありがとうございました。(小学校・養護教諭)
 - ・性的関心のない男女が増えている現状、性教育について外部講師を活用している状況など、グラフに明らかになっており、勉強になりました。できそうな部分から、自身で考え、教職員、家庭を巻き込んで全体で実施できればと思います。(中学校・養護教諭)
 - ・佐見先生のお話は、具体的でわかりやすかったです。毎年、中学3年生を対象に産婦人科の先生を講師にお呼びして「命の授業」を行っています。小中学校合同の学校保健委員会を兼ねていますので、保護者参観もありです。共通理解といった意味でも続けて行けたらと思っています。本日の先生のお話を参考にさせていただき、さらに発展的に進めていけるよう学校全体で取り組んでいきます。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
 - ・佐見先生のご講演は実践に基づいた内容であり、多くのデータに基づいた内容でしたので説得力がありました。(中学校・養護教諭)
 - ・性教育の難しさをわかってくださっていたので、先生の話す内容にすごく共感を持つことができた。指導する際に工夫する点や指導したい内容に沿ったものを作成するなど、とても参考になった。(中学校・養護教諭)
 - ・19歳以下の人工妊娠中絶が多いこと、性的関心のない男女ともに増加傾向であること、性の会話をしないことで性へのリスク意識が高くなっているが中学生は会話が増えているため、リスク意識が低いという現状を知ることができました。(中学校・養護教諭)
 - ・性教育を行う上で、性の現状を知ることが大事だと考えており、今回子どもの性の現状を知ることができ、学びを得ることができたから。また、保護者への授業の参加への同意文書について、とても参考になり、本校でも生かしていきたいです。(中学校・養護教諭)
 - ・いろいろなたくさんのデータを元に説明してくださり、今の現状がよくわかった。「性的同意」について、生徒たちに自分事として、教えていくのは難しいなあと感じた。ただ、女子は、妊娠してしまう身でもあるので、ちゃんと自分のYES・NOを伝える事を強く指導したいと思う。「生命の安全教育」について理解できるが、性犯罪者への治療についても是非行ってほしい。両輪で行わないと、性被害はなくならないと思う。(中学校・養護教諭)
 - ・近年の若者の性に対する意識や性行動の様子がわかり、課題設定の参考になりました。生命の安全教育についてもお話していただき、勉強になりました。(中学校・教諭)

- ・本を紹介していただいたり、SNS に起因する事犯の被害児童の投稿内容、自校生徒の実態把握について、はじめて規定等、とても勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・本校は外部講師をお招きし、性に関する指導講演会を3年生に継続して行っていますが、「子どものまだ知りたくない」という気持ちも大切にする事。個人差があるので、進んでいる子には個別指導と分けた方が良いというお言葉は、ありがたかったです。(中学校・養護教諭)
- ・現在の性に関する問題をデータや実践例から詳しく学ぶことができ、大変勉強になりました。紹介していただいた本や今後発表されるアンケート調査結果など、調べてみたいと思います。(中学校・養護教諭)
- ・これまで生徒指導主任を務めており、その中で性に関する問題行動も対応してきました。問題行動に対しての指導はいいのですが、自分の性とどう向き合っていくべきなのかという本質的な部分の指導が難しく感じていました。一定数の家庭で同じような悩みを持っているのであれば外部講師をお招きして講演会をしてみてもいいと思いました。(中学校・教諭)
- ・興味がないのに性行為の経験がある人が増えていることに驚きました。また、何を教えるべきか、という内容については、生徒の実態や教師の悩み、外部講師の活用など具体的に知れて、大変参考になりました。(中学校・教諭)
- ・生命の安全教育について、学校で取り組む工夫を考えていたところだったので、とてもタイムリーな内容で勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・生命(いのち)の安全教育について、まだまだ研修機会が少なく、どのような指導をすればよいか分からなかったもので、とても良い機会になりました。まずは他の先生方と話題にしてみるところから始めていきたいと思います。(中学校・養護教諭)
- ・子供たちの最新の性の実態(多様化・分極化など)についてはじめて知るものばかりで、大変勉強になったから。(中学校・養護教諭)
- ・本年度養護教諭になり、性に関する指導をまだ行っていないため、行う上で保護者や教職員との関わり、実態把握の大切さが参考になった。(中学校・養護教諭)
- ・現場で活躍していた先生のお話は大変参考になった。生徒の課題をつかみ、今年度も指導に当たりたい。これから出る青少年の性行動調査の結果を今後の指導に活かしたい。(中学校・養護教諭)
- ・数年前に、学芸大学の附属小学校で実習をさせていただいたときに、生命の安全教育を足掛かりとして、性の実態と教育について学んだが、学生の時に分からなかったことが、今日のお話を聞き、理解することができた。今後も多様な性にまつわる課題について広くアンテナを張っていきたい。(高等学校・養護教諭)
- ・性教育を行うにあたり、このくらいは知っているだろうという知識でも知らない生徒がいるため、性に関する大切な知識を漏れのないように一つ一つ丁寧に伝えていきたいと考えました。また、生徒は性行為や妊娠・出産など簡単に生命に関わることができる立場にいることを伝えていくと共に、その行動を起こす際は一旦落ち着いて考えて、責任ある行動を取らせていきたいと考えました。(高等学校・教諭)
- ・性的同意や性暴力や性の無関心化など多角的に現代の性について学びました。(高等学校・養護教諭)
- ・実際の統計を基に説明頂くことで、より実態に即した性教育の重要性を感じる事ができました。イメージに惑わされない見方をすることの重要性(本当にそうなのか?)も改めて感じた。(高等学校・養護教諭)
- ・いくつもの調査結果を踏まえたお話に、終始気づきや改めて考えさせられる内容でした。文字だけを見れば矛盾している調査結果から、現代の性課題が見えてきて非常に興味が沸いた。紹介いただいた著書も持っていたのでなんだかうれしくなったのと共に、他のご紹介いただいた著書も手に取ってみようと思う。そこから性被害にあいやすい子供たち自身が自分たちの年代の課題や現状に気づき、自らが危機管理意識を高く持つてもら

- えるように今後も指導していけるようにしたい。(高等学校・養護教諭)
- ・生命の安全教育に関しては、授業で取り上げていかなければならない内容だと感じた。(高等学校・教諭)
 - ・日本の性に関する実態や動向、具体的な支援方法などとてもわかりやすく教えていただき、日々の実践ですぐに役立つ内容で勉強になりました。保護者への「生命の安全教育の実施について」の説明文書なども共有していただき大変ありがたいです。自分の学校の生徒の性的関心や性行動の実態を知ることの大切さや、全国調査はどのデータと比較・参考にすれば良いのかなと学ぶことができて良かったです。保護者や教職員に学校として実施していることを発信することや、生命って何？自分って何？という根本的なことを教えることの大切さを改めて感じました。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・若者を取り巻く性問題のリアルな現状を、データ等を参考に理解することができた。その上で、先生の紹介されていた教材も性教育を展開する際には活用してみたいと思うものばかりだった。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・現在の性教育の現状や生命の安全教育について、現状や実際の指導事例などをわかりやすくご指導いただくことができて大変良かった。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・性教育に関する現状を知ることができたと同時に、今と昔の性教育のあり方に変化が出てきていることを痛感しました。また、外部講師を活用する性教育や命の安全教育に関して、「誰に」「どのような形で」依頼すべきかととても悩ましいところでしたが、外部専門家の情報も知ることができ大変勉強になりました。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・性教育は自校でも積極的に行う必要があると感じていたため、貴重な講演は大変参考になりました。実態把握が大切であると知り、学校全体で子供たちの課題を把握する良い機会になると感じました。ありがとうございました。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・外部講師を活用する際の大切なことの具体的なアドバイスが参考になりました。また、「生命が大切」「自分が大切」「相手も大切」という実感につながる指導をどうしていくか？等、知識を伝えるだけでない指導を考えていきたいと改めて感じました。ありがとうございました。(特別支援学校・教諭)
 - ・生命の安全教育の取り組みについて、まだ自校ではあまり進んでいないのでどのようにやっていくか保健体育科の先生たちや担任の先生たちと話していきたいと感じた。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・講演の中でもありましたが、生命の安全教育と聞いても難しいと感じることがありました。生命とは何かから入ることでその先のヒントがたくさん詰まっているのではないかと考え方を広げることができました。(教育委員会・指導主事等)
 - ・時代の変遷とともにこどもの実態が変化していて、その実態を適切に把握する必要性や、保護者の理解を得ること、保護者も我が子への性の指導について悩みを抱えていることが多いことなどを知ることができたため。(教育委員会・指導主事等)

【生命（いのち）の安全教育について】

<令和6年度に、取組を計画・実施した事例> ※一部抜粋
(小学校)

- ・プール学習前にプライベートゾーン、宿泊学習前に初経指導。
- ・学級活動：水泳指導域にプライベートゾーンについて全学年で実施。
- ・学級活動：プライベートゾーンについて（1・3年生・特別支援学級にて実施）
- ・2.4.5.6年に実施。4年は保健学習。5・6年は宿泊学習前の事前指導(学級活動)、2年は道徳で実施。
- ・特別支援学級で人との距離感。

- ・プール学習前に動画視聴。
- ・学校行事（水泳開始前の指導）にて実施。
- ・小学1年生学級活動：プライベートゾーンについて、文科省の動画を使用。
- ・学級活動：文部科学省の動画視聴。
- ・学級活動：プライベートゾーン、心と体の距離感など。
- ・一年生に、一学期に、学活で、養護教諭が、プライベートゾーンについて取り組みました。
- ・全学年に実施しています。学年により、特別活動、教科の保健になります。また、大人と子どもが楽しい時間を共有し、信頼関係を築くために、毎月1回、始業前の時間に読み聞かせを行っています。この読み聞かせは生命（いのち）の安全教育の一環として行っています。
- ・全校一斉指導をしたい。
- ・発育測定時のミニ保健指導で、文科省のスライドを活用しての学年ごとに指導する予定。2年生にプライベートゾーンの指導を毎年、学活で実施しているのので、そこで文科省のスライドを活用したいと思っている。
- ・特別活動：助産師による生命の安全教育講演会を計画。
- ・特別支援学級、特別活動等、プライベートゾーンを含む命の安全教育を計画中。
- ・発育測定前に実施予定。
- ・学級活動で、文科省のスライド教材を使用し指導予定。

（中学校）

- ・各学年ごとに1回助産師を講師に招き講演会を開いている。保護者にも案内を出し、参加を募っている。
- ・性に関する学習講演会。
- ・非行防止教室の中で、SNSによる危険や被害についても外部講師を招いて指導した。
- ・総合的な学習の時間で2時間を予定。
- ・外部講師を招いて「命の授業」を3学期に実施予定。
- ・3学年対象とし、行田中央総合病院の助産師を招いて行う。
- ・3年生は、10月末に外部講師を招き、実施予定。1・2年生は、保護者会などの日程で、相談機関も載せたお便り配布、時間が可能ならば、文科省の動画視聴。
- ・保健体育の授業で 人との関わり方、デートDV、性についてなど指導、または指導予定。3年生に講師を招いて命の教室実施予定。
- ・3年生を対象に、卒業前にいのちの安全教育を外部講師を招いて行いたいと考えています。

（高等学校）

- ・保健講演会：デートDV防止や性被害防止について。
- ・「性教育講演会」「情報セキュリティー講演会」にて命の大切さについても触れていた。
- ・性教育講演会の中で性被害・性加害についても触れていた。
- ・道徳教育と連携し、外部講師を招いた性教育講演会を実施予定。その際に触れていた。

（特別支援学校）

- ・薬物乱用防止教室、サイバーセキュリティー研修。

<成果>

- 学習指導要領の指導内容をおさえた授業実践について周知することができた。
- 小・中・高等学校の系統的な指導内容の理解が深まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解が深まった。
- ケーススタディなどの具体的な指導方法について理解が深まった。
- 「生命（いのち）の安全教育」について、広く周知することができた。

<課題>

各学校で、「性に関する指導」を適切に推進していくために、学習指導要領を正しく理解することや、発達段階を踏まえた指導内容、学校全体での共通理解、保護者の理解、集団指導と個別指導の連携を密にした効果的な指導をする必要がある。また、「生命（いのち）の安全教育」については、学校によって取組状況に差が見られるので、県としての方向性を定めて、その方向性に基づいて、各学校の実情に応じた取組が推進されるようにしていく必要がある。引き続き研修の充実を図りたい。

(2) 「性に関する指導」授業研究会について ※参加者アンケートより一部抜粋

ア 小学校部会

- ・導入でよく知っている先生の身長を用いたことで、子ども達は興味をもって授業に入ることができたと思います。養護教諭としてなかなか T.T で授業することがないのですが、今日の授業を参考にして進められたらと思います。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・すくすくテープなど考えぬかれた教材でした。Excel データをぜひいただいて、本校でも活用できればと思います。(小学校・養護教諭)
- ・4年生という思春期の入り口に「すくすくテープ」で成長を可視化させ、作業を通して個人差に気づかせる（自分ごととして）導入がすばらしいと思いました。4時間後の児童の「ふりかえり」をぜひ読んでみたいです。井上先生、塩澤先生ありがとうございました。(小学校・教諭)
- ・子どもたちが生き生きと、そして楽しそうにしているのが印象的でした。ロールプレイを拝見して、子どもたちのアドバイスから「個人差」や「発育」という言葉が出て来たので、子どもたちは楽しみつつも、しっかりと学んでいる姿に感心いたしました。「すくすくテープ」の作り方をぜひ教えていただきたいです。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・すくすくテープの活用（デジタルコンテンツではなく）、学習指導要領をしっかりと読みとることの大切さを改めて感じた。(小学校・養護教諭)
- ・ICT を活用し、ワークシートをクラスで共有でき、視聴的に情報をつかむことができていた。個人差があるということが納得できた授業だったと思います。児童にロールプレイをさせ、悩む立場、相談される立場の両方を経験させることが大事なことと感じました。分科会でいろいろな地域の方、職種の方との情報交換ができて、自校の取組への参考になった。(小学校・養護教諭)
- ・授業者間の連携がしっかりされていて、授業の流れもスムーズで、とても良い授業でした。すくすくテープの活用（色分け・切って貼る作業）により、自分の体の変化を可視化し、自分事として捉える工夫がとても良かったです。とても効果的だと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・子供達が自分事として、授業を受けられるような工夫がたくさんあり、とても参考になりました。すくすくテープの活用、ぜひやってみたいと思いました。次や

その次の授業も参観させていただきたいと思いました。素晴らしい授業をありがとうございました。(小学校・養護教諭)

- ・ICTを活用しての性に関する指導がよかった。課題解決(なやんでいる子へのアドバイス)を取り入れている点がよかった。参考にしたいと思った。(小学校・養護教諭)
- ・塩澤先生、井上先生、授業大変お疲れ様でした。授業者ふりかえりにてお話をしましたが、先生お二人とも指示が明確で、端的で分かりやすく、とても子供たちが取り組みやすい授業だと思いました。授業の進め方や発問は、いつも授業をしていて、慣れている担任の先生方に相談をして学ばせてもらいながら、私達養護はすすくすくテープの作成や知識の提供など、お互いが補いながら、子どもたちのために充実した学びある授業を実施できたら良いなと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・身体の発育・発達には「個人差がある」ことに注目できていた。今後、思春期に入り、男女それぞれに目に見える変化があり、その中でも今日のアドバイスロールプレイにもあったように、「差があつてあたりまえ」「だいじょうぶ」といった考え方ができるきっかけになったと思う。本日はありがとうございました。(小学校・教諭)
- ・学級経営がすばらしく、のびのびと授業展開されていて感動しました。校長先生、養護教諭が子ども達一人一人にあたたかく細やかな声かけをしていました。内容も準備が大変だと思いますが、成長リボンや先生方の成長など、興味を高めるものが沢山ありました。本日はお忙しい中ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・「すすくすくテープ」を手にしたときの子どもたちの表情がとてうれしそうでした。自分がどのくらい発育しているのかを資格で捉えられるといいと思いました。1時間の授業の中に様々な取組を入れ、子どもたちにわかりやすく伝えられていました。自校に持ち帰り、参考にさせていただきます。今日はありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・導入での身近な先生方の発育から、自分事として捉えるための児童一人ずつへのすすくすくテープはとてうれしい贈り物のように感じました。個人差があることも肯定的に受け止めることができ、本単元やさらにつながっていく性に関する指導全体の効果を非常に高めてくれるのではないかと思います。(小学校・養護教諭)
- ・「保健のスペシャリストの先生に相談に来てね」という言葉が一番印象に残り、養護の先生とT.Tで授業を行うことの効果をとて感じました。普段小学校の授業を見ることがあまりないので、小学校の授業をふまえて今後、授業を行っていきたいです。ありがとうございました。(中学校・教諭)
- ・養護の先生との連携で、どういうところは説明してもらおうとよいのか、押さえるとよいのが分かってよかったです。紙テープは作るのが大変ですが、やっぱりあると実感しやすいので、使ってあげたいなと思いました。参観させていただき、ありがとうございました！！(小学校・教諭)
- ・発育に対して、不安になる学年だと思うが、その不安を先生の発育の仕方や自分の身長伸び、ロールプレイなどを用いて少しでも少なくしようとしている姿勢が感じられました。(小学校・教諭)
- ・養護教諭は一人職なので、なかなか他校の養護教諭の保健教育のやり方を見る機会はないため、大変参考になりました。昨年、自分もこの単元を自校でT.T(担任と養護)でやったのですが、今日の授業研究会の先生方の声かけやアプローチを見て、次は藤田小の実践のように、良い点を活かしてやりたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・データを具体的な形にして扱った点と、保護者を巻き込んでいる点が参考になった。(中学校・教諭)
- ・体の変化や性について、伝えることが難しいが、教員がていねいに準備していると、子どもたちの理解が早くなる。知識だけでなく、体感することで、定着し、興味をもって授業を受けることができている。ロールプレイやテープを実践して

みたい。すてきな授業をありがとうございました。(中学校・教諭)

- ・授業を行う上での工夫などが分かり、本校でも共有したいと思いました(すくすくテープ等)。少し前に同じ単元で自校の授業を参観したのですが、書き写しや計算が加わってくると、一部ついてこられていない子がいたので。また、今日学んだことをふまえて自校の性に関する指導の全体・年間計画も見直したいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・今年度、初任者研修を受けているので、養護の先生の授業を見るのが初めてでした。テープを使用することで、自分の発育を見て感じられるため、より「自分ごと」として授業に参加できるのだろうなと思いました。自校で授業をする際にテープを使用してみたいと思います。塩澤先生、初任研ではお世話になりました。(小学校・養護教諭)
- ・まず、小学校の“授業”自体が大変参考になりました。要点をおさえた話ぶり、実物とICTの効果的な利用、ねらいとまとめの押さえ方等、本校で改めて押さえなければならぬと感じました。また、勤務校の養護教諭からも系統的、計画的な保健関係の指導について声かけを受けているので、連携して子どもたちに必要な指導を行っていきたいと思います。坂上先生からの情報提供も非常に勉強になりました。(特別支援学校・教諭)
- ・すくすくテープでの視覚化は子どもたちにわかりやすかった。養護教諭と連携した性指導の必要性を感じた。ICTの活用の“オクリンク”を初めて知った。性の学習に限らず活用できる。(特別支援学校・教諭)

イ 中学校部会

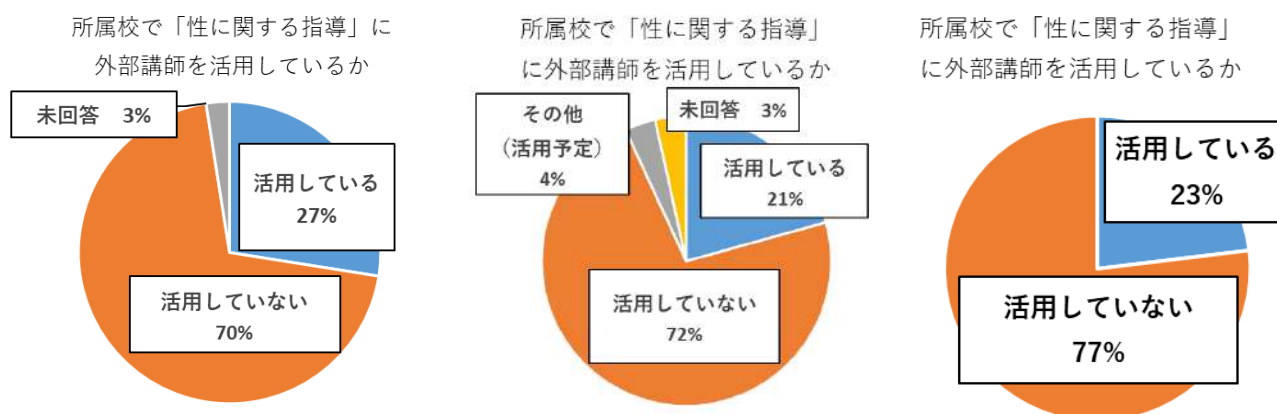
- ・すべて最初から調べさせるのではなく、ある程度資料を与え、その中から重要なワードを押さえさせると、時間の短縮にもなるし、より大切なワードが頭に残りやすいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校と中学校の指導法の違いを知ることができ、自校に戻って活かせることも多く、大変勉強になりました。また、保健教育について、他校の先生方と協議することが貴重な時間となりました。(小学校・教諭)
- ・中学校で性教育について、こんなにしっかり学習していることを知らなかったのでも、とても勉強になりました。言葉のつかい方や言い回しなど、難しい部分もあると思いますが、分かりやすだけでなく、正しい知識を子どもたちは得ることができたと思います。ありがとうございました。(小学校・教諭(保健主事))
- ・性に対する意識や興味・関心が芽生え始める中学3年生にどのような手立てを用いて授業を進めるか、内容等などとても参考になりました。小学校においても、年齢に応じた内容の検討、指導の充実を図っていきたいと思いました。(小学校・教諭)
- ・ICTを活用し、視覚をつかった実験で、とてもわかりやすかったです。とても話しにくい内容(性について)だったので、どのように工夫して授業していくのか参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・子供達に伝え、理解してもらうのが難しいところですが、実験やグループ活動を通じて、子供達の理解が深まっていたように思います。今後、T2で授業する機会があると思いますので、生かしていきたいです。(小学校・養護教諭)
- ・中3という多感な時期の生徒へどのように性感染症を学ばせるのかとても興味深かったのですが、久保先生の授業は視覚的に理解しやすく、生徒達の理解度も高かったと思います。日頃の先生と生徒たちとの関係性の良さを感じました。とても勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・内容として、とてもデリケートで難しい単元だとは思いますが、指導者の先生のあたたかい言葉かけや工夫されたスライド資料により、非常に興味・関心を引く授

- 業であったと思いました。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・「性に関する指導」について、近年必要性が高まってきており、ネット社会における子供たちの正しい性知識の習得は欠かせないものになってきていると思います。本日の授業では、性感染症の正しい知識が子どもたちに伝わるよう視覚に訴える授業展開の工夫がありました。しかし、最も必要なのは、性=命という基本の教えだと思います。(小学校・教諭)
 - ・自分ごととして考えるために、どのように授業を組み立てたらよいか、考えることができました。資料がととてもすばらしく、教えなければならないことがとても多いのですが、的確な指示で進められており、保健はどうしても教え込みがちですが、対話のよりこみ方を学ぶことができました。ありがとうございました。(小学校・教諭)
 - ・中学生の授業は、自分の将来を自分で考えさせる内容で、小学生とはちがいで、教師が1から教えるのではなく大事なところを見つけ、気づかせるという少し大人に近づいた指導法だなと感じた。(小学校・助教諭)
 - ・液体を使った感染拡大ゲームがととても有効だと感じた。自分たちでも知らないうちに広げていることを意識させるためにととても有効だった。(小学校・教諭)
 - ・中学校の授業をみるのがなく、中学生の発達段階を確認できた。授業もICTを活用し、キーワードなどを分かりやすく押さえており、私の命、私たちの健康は「私」が守る保健教育になっていた。性感染症、テーマは難しいですが、自分自身、しっかり学び直し、指導していきたいです。(小学校・養護教諭)
 - ・デジタル機器を使用した実践例など、ICT化が進んでいる本校でも活用できる知識が多く学べました。また、「性」について説明をする時に、「命」や「人権」というワードに触れていたことがととても印象的で、今後、自分が指導をする立場になったときの参考になりました。(小学校・養護教諭)
 - ・授業では、1年生の内容をしっかりと結びつけていてわかりやすかった。時間がたつと忘れてしまうというのが自分事として捉える良いきっかけづくりになっているように感じた。また、私も毎回、久保先生のように丁寧に準備して授業に臨みたい。指導講評では、私がまだ知らなかった資料や進め方を知れて勉強になった。自校の実践につなげます。ありがとうございました。(中学校・教諭)
 - ・同じ体育教員の視点から、一番難しい内容の単元だと思います。その中で、情報を多方面から取り入れ、まとめるのは相当な準備が必要だったと思います。改めて授業の準備の大切さを学べました。(中学校・教諭)
 - ・性に関する授業は生徒が発言しづらい雰囲気があるが、本日の授業は全員が発言する場面があった。水を使った導入から、資料を使ったアクティブタイムはととても生徒が受けやすい雰囲気であった。(中学校・教諭)
 - ・自分も同じ単元の授業をしましたが、教師主体で進める授業になってしまいました。久保先生の授業では、アンケートで生徒の実態を知り、知識を深めるためにグループワークで性感染症についてまとめていて、子どもたちが自分ごととして捉えやすい授業で、参考になりました。(中学校・教諭)
 - ・生徒の興味関心をひく工夫がたくさん含まれている授業で、ととても勉強になりました。自校で保健の授業をT.Tで行う際に、参考にさせていただきます。お忙しい中、ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
 - ・普段、なかなか授業をすることも見ることもないので、勉強をさせてもらいました。養護教諭として自分ならどう関わられるか、どんな視点を持っていなければならないか、ととても考えさせられました。本日はありがとうございました。(中学校・養護教諭)
 - ・いつ、だれがどこまで指導するのがよいか、考えておりましたが、本日の授業や各校の先生のご意見を聞き、多くを学ばせていただきました。ありがとうございました。(教育行政・指導主事)

ウ 高等学校部会

- ・ 普段授業に関わる機会がないぶん、生徒たちの活発でリアルな話を聞き、どのような視点で参加しているのか目の当たりにすることができた。また、他校の取組等、情報共有ができ、有意義な時間となった。(高等学校・養護教諭)
- ・ 現任校では話合いや自分の考えを言葉に起こすことが困難な生徒が多く、ディスカッション形式の授業は成り立たないと感じていたが、ディスカッションのヒントを掲示したり、ICT を活用することで話合いを促進し、深い学びに繋がると分かった。異動後に本日のディベート形式が実践できることがあれば、実践してみたいと感じた。(高等学校・教諭)
- ・ 性に関する単元は、少しやりにくさを感じている中で、ディベートを中心に授業を進めるという新しい方法を学ぶことができました。(高等学校・教諭)
- ・ 内容が繊細であるが、あえてディベートを行うことで、より性に関しての内容を深めていくことにつながったり、個々の考えを整理して他者に伝えたりする力を養えることが分かった。ぜひ、自分でも行ってみたいと思いました。(高等学校・教諭)
- ・ 性に関する単元の内容は、扱いが難しく、淡々とした授業になりがちだと思いますが、とても生徒たちにとって身近で、経験する内容だと思うので、今回主体的に学べる授業を見学できて、大変学びになりました。他の学校、教科の先生とも情報共有出来て、授業をやってみたいなと思いました。(高等学校・養護教諭)
- ・ ディベートを行うにあたっての準備(事前学習)、本番、振り返りの一連の流れがとても参考になった。活気があり、とても素晴らしい授業だと思いました。(高等学校・教諭)
- ・ 梨本先生の授業作りが大変参考になりました。授業終了後も女子の生徒が「この問題は難しいね。自分だったらどうするかな。」と話をしながら教室に帰って行きました。知的好奇心や継続して学びに向かう力の育つ素晴らしい授業だと感じました。また、生徒の皆さんも主体的に授業に参加しており、意見交換も活発で驚きました。本日はありがとうございました。(高等学校・教諭)
- ・ ディベートを取り入れた性に関する指導の授業は初めて参観したことと、高校(通常校)の保健の学習も初めての参観だったので参考になった。(特別支援学校・教諭)
- ・ 性教育というオープンで話しづらい内容をディベートで扱ったところがとても参考になりました。また、ディベートを生徒がスムーズに進める工夫もなされていたのがとても勉強になりました。(特別支援学校・教諭)

エ 外部講師の活用について ※参加者アンケートより



【小学校部会参加者】

【中学校部会参加者】

【高等学校部会参加者】

<外部講師を活用している場合の具体的内容> ※参加者アンケートより一部抜粋

(小学校)

- ・助産師の方に講師をお願いし、受精から出産までをアニメーションや動画により、わかりやすく説明いただいた。また、異性の関わり方についても話していただいた。
- ・今年度、初めて助産師の方を招き、「命」の授業を予定している。
- ・深谷市にいたときは、「いのちの大切さ」で、助産師さんに講演をしていただいた。
- ・助産師さんをお願いをして、命の大切さについて話をしていただいた。赤ちゃんが産まれるところから始まり、赤ちゃんができるまでやそのために大切なことなどを話していただいた。
- ・命の授業 (いのちのはじまり、妊婦体験、赤ちゃんだっこ、生命 (いのち) の安全教育)。
- ・助産師、看護師の方を招いて、生命尊重のところをベースに体験活動も取り入れながら指導していただいている。できるだけ学校公開の日に当てている。
- ・活用を検討しましたが、予算の関係で呼べなかった。
- ・5年生の理科で、保健師 (市教委) をお招きして、大越小と連携して「命の授業」を行う予定。
- ・昨年度は、6年生対象に「中学生になる前にしておいてほしいこと」として、助産師から話を聞いた。今年度は市のマンパワー事業を活用し、5年生の理科の中で、赤ちゃんの誕生、お世話に方法について話を聞いたり実習をする予定。
- ・6年生を対象に、毎年助産師を招いての命の教育を行っており、赤ちゃんの模型を抱いたり妊婦体験をしたりして、命の大切さについて学習する時間を設けている。
- ・昨年度、保健センターの保健師さんをお招きして、いのちの誕生について授業をしていただいた (6年生)。赤ちゃんの人形をだっこしたり、妊婦体験もした。(市マンパワー事業)

(中学校)

- ・中3の後期 (卒業前) に、助産師さんに来ていただいて、特別授業を行ってもらっている。
- ・卒業前の生徒に対して、体と心について、様々な視点でお話していただいている。
- ・リスク回避について。
- ・トランスジェンダーの方をお招きし、性別らしさにこだわらず、自分らしさを大切にしようとお話をしてもらった。
- ・3年生を対象に、卒業前に助産師さんから講話をいただいている。その学年になったことがないので、詳細まではわからない。また、昨年度 LGBTQ 講演会を開催した。トランスジェンダーで性転換をした方に御講演いただき、性の在り方について学んだ。

(高等学校)

- ・性感染症や妊娠のリスク、性の同意等、外部講師を招いて性教育講話を行っている。
- ・性関係の成長の個人差、性自認、性交に対する知識全般について、各クラスでプロジェクターを利用したオンラインの講義を行っている。
- ・講演を助産師をお願いしている。(授業ではなく校内行事として)
- ・市内の産婦人科の方を講師としてお呼びし、学校全体で行っている。避妊についてや、性的同意、性犯罪についての内容を行った。
- ・性感染症、避妊、生理、デートDV、妊娠、中絶、バウンダリー、命の大切さ、LGBTQ、SOGIについて。
- ・助産師さんに来校していただき、配信という形で性に関して全般 (約2時間) お話していただいた。
- ・セクシュアルマイノリティに関する実体験を踏まえた講話、正しい性の知識に関する講話等。

(特別支援学校)

- ・助産師さんによる“命の授業”、ここからカルタを実施。

(市教育委員会)

- ・生命の授業(助産師による)、がん教育を実施。

5 令和7年度の事業予定について

(1)「性に関する指導」課題解決検討委員会の実施(継続)

ア 日時

- | | | | | | |
|-----|-------------------------|------|---------|--------|------|
| 第1回 | 課題解決検討委員会 | 令和7年 | 6月 | 6日(金) | (予定) |
| 第2回 | 課題解決検討委員会 | 令和7年 | 8月 | 26日(火) | (予定) |
| 第3回 | 課題解決検討委員会(部会別授業研究会を兼ねる) | 令和7年 | 10月～11月 | | (予定) |
| 第4回 | 課題解決検討委員会 | 令和8年 | 1月 | 27日(火) | (予定) |

イ 内容(予定)

- ・課題解決検討委員会事業計画の作成
- ・「性に関する指導」指導者研修会の計画
- ・「性に関する指導」授業研究会の計画、学習指導案の検討
- ・外部講師の活用について研究
- ・「生命(いのち)の安全教育」を関連付けた指導の好事例収集
- ・成果報告
- ・事業のまとめ等

(2)「性に関する指導」指導者研修会

ア 日時 令和7年8月5日(火) オンライン開催 (予定)

イ 内容

- ・行政説明
- ・事例発表

小学校指導事例	第4学年「体の発育・発達」 (ア) 体の発育・発達 本庄市立藤田小学校	養護教諭	塩澤美保子
中学校指導事例	第3学年「心身の機能の発達と心の健康」 「健康な生活と疾病の予防」性感染症とその予防 加須市立昭和中学校	教諭	久保あかね
高等学校指導事例	第1学年「現代社会と健康」 (イ) 現代の感染症とその予防 性感染症・エイズとその予防 県立進修館高等学校	教諭	梨本 雄太

- ・講演
講師未定

II 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

令和6年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会開催要項

1 趣 旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和6年8月6日（火） 13時20分から16時30分まで
（接続：13時～）

3 会 場 Zoomによるオンライン開催（ライブ配信）

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

(1) 公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（管理職・体育・保健体育科担当教職員・養護教諭・保健主事等）

(2) 市町村教育委員会の指導主事

※参加人数の上限を500名とし、上限に達した場合は、申込を締め切ります。

6 日 程

13:00	13:20	13:25	13:45	14:45	14:55	16:25	16:30
受 付	開 会 行 事	行政説明 20分	指導事例発表 60分	休憩	講 演 90分	諸 連 絡	閉 会 行 事

7 内 容

(1) 行政説明

・教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上 三四郎

(2) 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会指導事例発表

・小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」

(イ) 思春期の体の変化

八潮市立八幡小学校 藤田 晃輔 教諭

・中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

志木市立志木中学校 力丸真智子 養護教諭

・高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」

(ア) 生涯の各段階における健康

県立北本高等学校 川尻鈴ノ介 教諭

(3) 講演

演題 「学習指導要領に基づく性に関する指導の考え方と進め方
～教科等横断的な視点を加えて～」

講師 東京学芸大学 教育学研究科 教職大学院 保健体育教育サブプログラム
教授 佐見 由紀子 氏

8 その他

(1) 研修当日用意するもの

ア オンライン視聴することができる端末等

イ 研修会配布資料及び筆記用具

※埼玉県HPからダウンロードし、オンライン画面を見ながら資料も参照できるように準備する。資料は令和6年8月1日（木）までに掲載予定。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 学校保健に関すること > 各種研修会の配布資料

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/kenshushiryoku.html>

【QRコード】



現在は掲載終了

ウ 保健教育指導参考資料 「なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー

(令和5年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)

※各校に1冊配付済みの他、埼玉県HPからもダウンロードできます。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 健康教育

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/hokenkyouiku.html>

【QRコード】



(2) 申込から研修当日までの流れ

別紙「令和6年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会申込マニュアル」を参照

一指導事例発表資料一

【小学校指導事例】

第4学年 体育（保健領域）

「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

発表者：八潮市立八幡小学校 教諭 藤田 晃輔

【中学校指導事例】

第1学年 保健体育（保健分野）

「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

発表者：志木市立志木中学校 養護教諭 力丸真智子

【高等学校指導事例】

第2学年 保健体育（科目保健）

「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

発表者：県立北本高等学校 教諭 川尻鈴ノ介

令和6年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

小学校指導事例発表

第4学年「体の発育・発達」


(イ) 思春期の体の変化

八潮市立八幡小学校 藤田晃輔

1

学校の概要

八潮市立八幡小学校



開校 120周年
児童数 378名
学級数 16学級 (通常級13・支援級3)

学校教育目標

- やさしく思いやりのある子
- 分かるまであきらめずに考える子
- たくましく活動する子

めざす学校像

みんな笑顔の八幡小学校

2

1 授業を行うにあたって → 2 授業実践 → 3 成果と課題

学習内容の系統性: 保健における体系イメージ

生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力の育成

個人及び社会生活における健康・安全に関する内容

個人生活における健康・安全に関する内容

身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容

高等学校より統合的に
中学校より科学的に
小学校より実践的に

改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き

3

1 授業を行うにあたって → 2 授業実践 → 3 成果と課題

学習内容の系統性

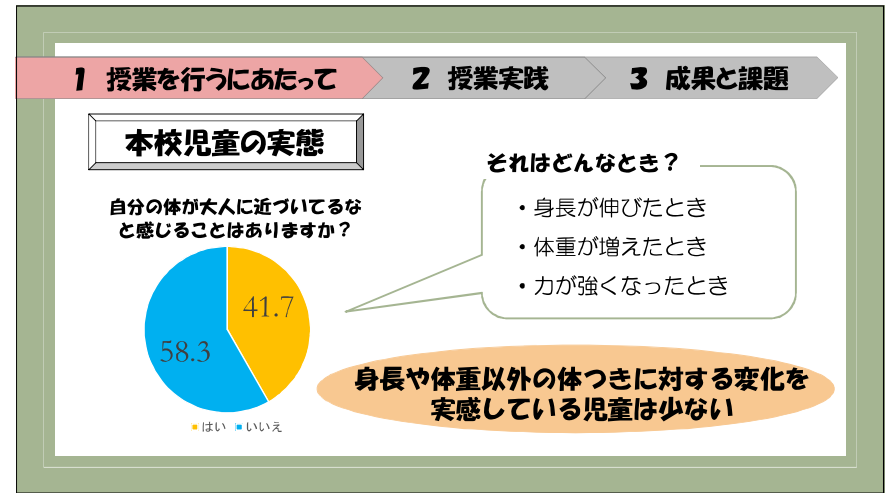
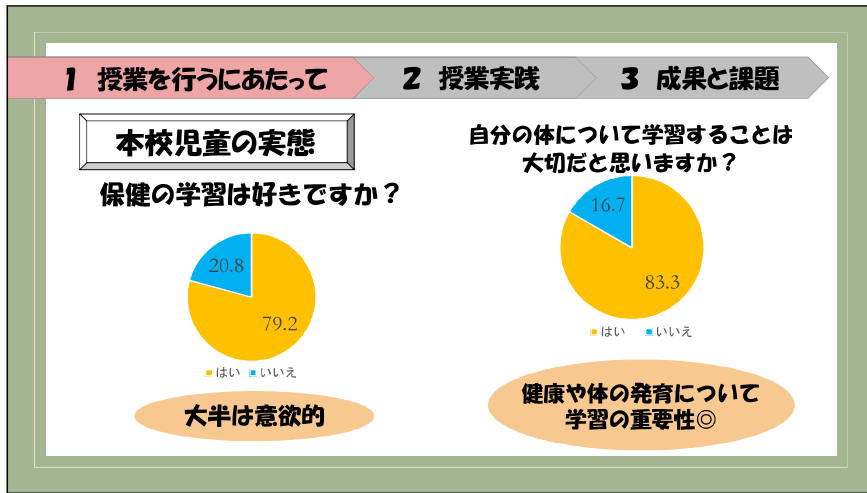
単元「体の発育・発達」

第1時 (年齢に伴う体の変化)	第2時 (思春期の体の変化①)	第3時 (思春期の体の変化②)	第4時 (よりよい発育のために)
○身長や体重の変化 ○個人差	○体つきの変化 ○男女の特徴 ○変声、発毛 ○個人差	○初経、精通 ○異性への関心 ○個人差	○体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方

中学校「心身の機能の発達と心の健康」

生殖にかかわる機能の成熟、成熟に伴う変化に対応した適切な行動

4



1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

単元を通して一貫した指導

- ◆ はずかしいことではないこと
- ◆ 誰にでも起こること
- ◆ 個人差があること
- ◆ 大人になっていく⇒子どもを産める体になる、ステキなこと
- ◆ いつでも、だれにでも相談して良いこと

担任ではない良さ

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

授業の流れ 単元「体の発育・発達」 第3時 思春期の体の中の変化

【導入 5分】

① マンガ吹き出しクイズ：自分の体の中に変化が起こることを知る。

【展開 25分】

② 精通・初経について知る。（養護教諭）
③ 異性への関心の芽生えについて考える。

【まとめ 15分】

④ ケーススタディ：悩みに対するアドバイスを考える。

【深める】
習得した知識を活用する場面

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】 養護教諭による説明

教科書では…

性器の
つくり

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】 養護教諭による説明

一方、学習指導要領では…

- 思春期には初経、精通、変声、発毛が起こり、また異性への関心も芽生えること〜。
- これらは個人差があるものの、大人の体へ近づく現象であることを〜。

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】 養護教諭による説明

学習指導要領に則った、
最低限の説明！

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】 養護教諭による説明

養護教諭と
入念な打ち合わせ

↓

- 伝える内容を精査
- できるだけ簡潔に、短く！

養護教諭
養護教諭は、児童・生徒の発達段階に合わせた説明を行います。教科書の内容をそのままではなく、児童・生徒の発達段階に合わせた説明を行います。教科書の内容をそのままではなく、児童・生徒の発達段階に合わせた説明を行います。教科書の内容をそのままではなく、児童・生徒の発達段階に合わせた説明を行います。

【展開1+】アンケートの視覚化

精通・初経を経験した時期（教科書参考）



【展開1+】アンケートの視覚化

学年の子ども的人数に合わせた結果を伝える



【展開2】これっておかしい？ふつう？

「クイズ！これっておかしい？ふつう？」

- ① 男の子と女の子、まごっこ遊ぶ
おかしい？ ふつう？
- ② 男の子どうし、女の子どうしだけで遊ぶ
おかしい？ ふつう？
- ③ 男の子と女の子で同じ考えをもつ
おかしい？ ふつう？
- ④ 男の子と女の子でちがう考えをもつ
おかしい？ ふつう？
- ⑤ 異性にちょっかいをだしたくなくちゃ
おかしい？ ふつう？
- ⑥ 異性のうわさ話をしたくなくちゃ
おかしい？ ふつう？

【展開2】これっておかしい？ふつう？

**体の成長だけでなく
心も成長**

異性への関心も当たり前

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【深める】 ケーススタディ

習得した知識を活用

おなやみかいけつコーナー

<p>りょうすけさん</p> <p>おしっこどおししたらみんなのせいねば おぼしたのが出てきた。これって養護教諭 か？</p>	<p>さとみさん</p> <p>僕の養護が私だけじゃなくみんなの養護 で、みんなの養護が私だけじゃなくみんなの 養護で。</p>	<p>まさやさん</p> <p>おしっこどおししたらみんなのせいねば おぼしたのが出てきた。これって養護 か？</p>	<p>ふじこさん</p> <p>おしっこどおししたらみんなのせいねば おぼしたのが出てきた。これって養護 か？</p>
---	--	---	---

精通・初経

異性への興味

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【深める】 ケーススタディ

主体的な学習
個別最適な学習

ワークシート
OR
タブレット

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

成果

- ◆マンガ吹き出しクイズ⇒自分事と捉えさせることができた。
- ◆精選した養護教諭の話
⇒必要な事だけを短い時間で伝えることができた。
- ◆アンケートの視覚化⇒実感を伴った理解、安心することができた。
- ◆ケーススタディの選択⇒意欲的にとりくみ、知識の活用ができた。

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

課題

- ◆「これっておかしい？ふつう？」
⇒今の時代には難しい・・・？
- ◆「異性」の言葉の意味の伝え方
- ◆養護教諭以外との連携



令和6年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

中学校指導事例
第1学年「心身の機能の発達と心の健康」
(イ) 生殖に関わる機能の成熟



埼玉県志木市立志木中学校
養護教諭 力丸 真智子

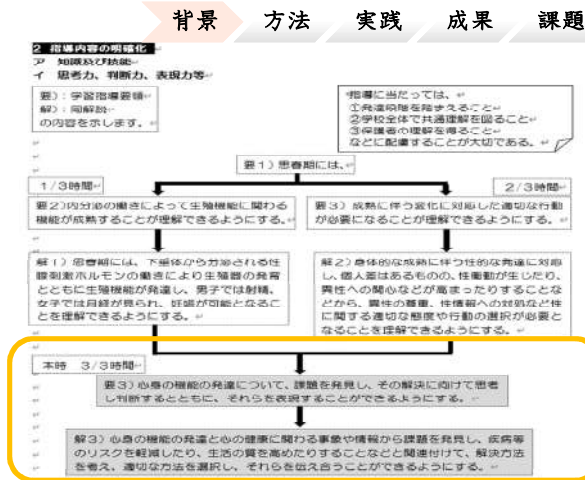
学校の概要

埼玉県志木市立志木中学校



- 開校 1947年
- 生徒数 631名
- 学級数 19学級
 - 通常級 17 特別支援 2
- 学校教育目標
 - 考える人 思いやりのある人 たくましい人
- 目指す学校像
 - 信頼される学校に

指導内容の
明確化



本校生徒の
実態



知識及び技能

- ・「思春期の体の変化」について学習中
- ・ニュースやネットでの知識→知識の定着に差

思考力、判断力、表現力等

- ・課題解決力はあるが課題を自分で見つけるのは苦手
- ・性について興味なし
- ・性意識への向き合い方や適切な行動選択の力は微力

学びに向かう力、人間性等

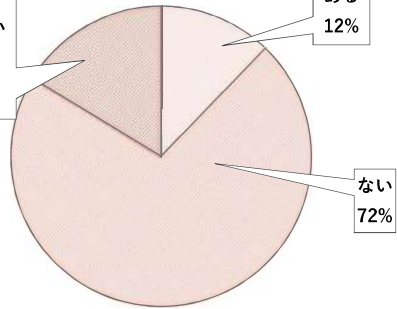
- 性に関する話「話したり相談したりしたいと思わない」約55%
- 意見や考えの共有に配慮が必要

生徒事前調査 1

背景 方法 実践 成果 課題

性に関する情報を見て、ドキドキしたことがありますか N=196

友達等からドキドキしたという話を聞いたことがある
16%

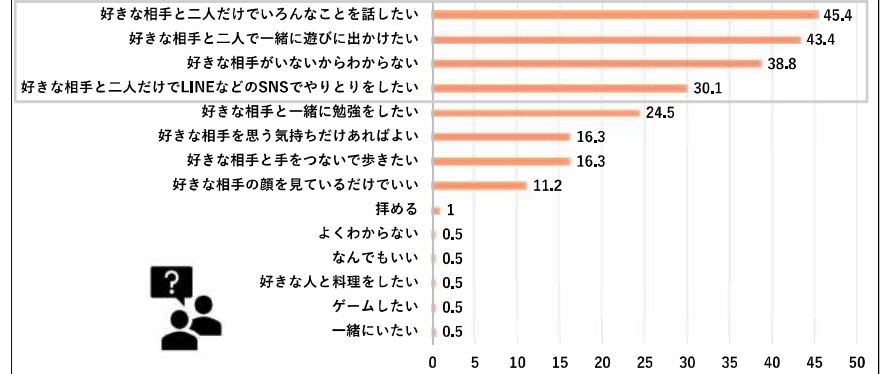


5

生徒事前調査 2

背景 方法 実践 成果 課題

次の項目のうち好きな相手してみたいことを3つ選んでください N=196 %

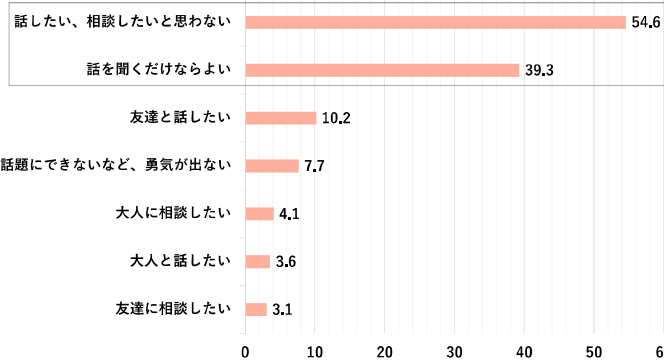


6

生徒事前調査 3

背景 方法 実践 成果 課題

性に関することについて自分以外の誰かと話したり、相談したいと思いませんか。 N=196 %
あてはまるものを全て選択してください



7

生徒事前調査 4

背景 方法 実践 成果 課題

【性に関すること】で、知っていることや授業で習ったことや生活の中で耳にしたことがある言葉など、できるだけ挙げてください。
ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://wordcloud.userlocal.jp/>) による分析



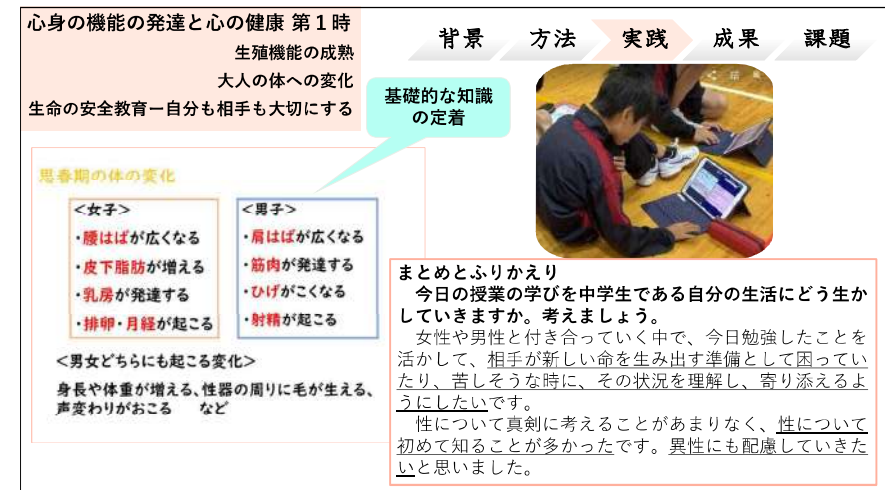
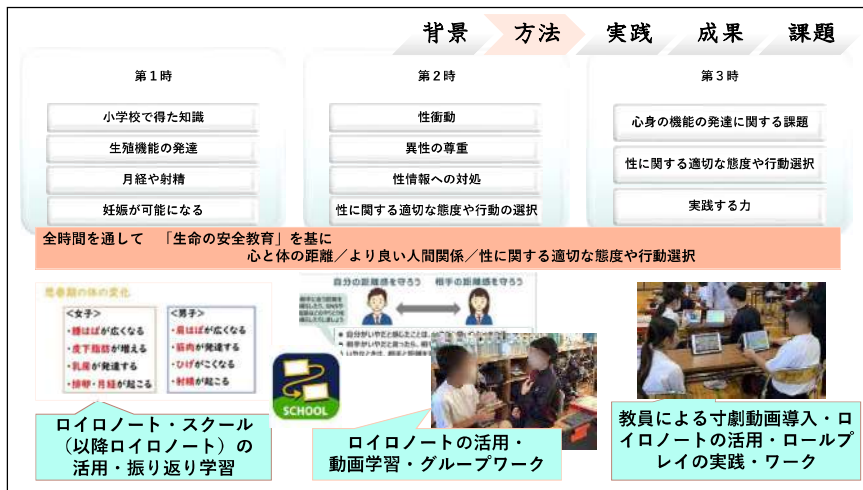
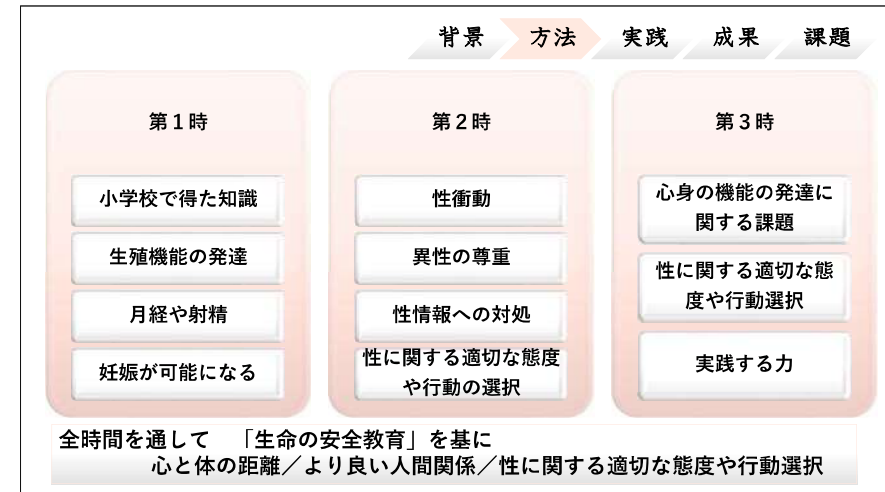
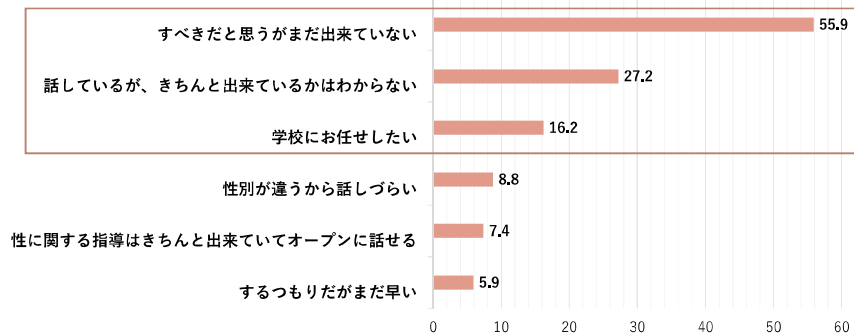
8

保護者対象
事前調査



背景 方法 実践 成果 課題

ご家庭での性に関する指導や取り組みについて N=136 %



ワーク・考えてみよう
あなたが相手と接するとき心地よいと感じる距離はどのくらいだろう？またなぜそう感じたのだろうか？
ワーク1 隣の人と握手をしてみよう。
心と体の安全な距離を考えてみよう。

ワーク
体験によって考えを深める
知識との関連から自分や相手の気持ちを考える

感想・気づいたことを記入する
異性同士で手を繋ぐことやハグすることはできなかった。だけど同性同士で手を繋ぐことはできたがハグすることはできなかった。
異性同士とハグすることは気持ち悪いと思ったり、恥ずかしいと思ったからできなかったのだと思う。

感想・気づいたことを記入する
異性だったら、握手ぐらいまでだったら全然大丈夫だったけれど、ハグはちょっとな、と思ってしまった。
同性だったら、握手は全然大丈夫だった。ハグも全然大丈夫と思った。家族だったらどちらも全然できるなと思った。
異性と同性、家族の違いは関わっている時間が違うからなのかなと思った。

心身の機能の発達と心の健康 第2時①
性意識の変化について
—生命の安全教育—より良い人間関係をつくる

背景 方法 実践 成果 課題

一斉に動画配信・視聴

自分の考えや気持ちを記入

生命の安全教育動画教材の活用
各個人で自分事として考え、意見をまとめ
— 全体で共有・深める

心身の機能の発達と心の健康 第2時②
性意識の変化について
—生命の安全教育—より良い人間関係をつくる

授業研究会

背景 方法 実践 成果 課題

【本時の学習課題】
異性を尊重する態度を身に付け、より良い人間関係について考えよう。

1) ねらい
性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする

心身の機能の発達と心の健康 第3時（本時）
性と向き合う
生命の安全教育
—より良い人間関係をつくる術を知る/
異性を尊重する態度や行動選択—

導入

背景 方法 実践 成果 課題

動画を観て…
二人のカップルの問題点やどうすればよかったのか、考えを書きましょう

● 先輩・後輩など、相手と上下関係がある場合だけではなく、同級生同士でも相手と対等な関係ではなくなることがあります。
● もし、相手の行為をいやだと感じても、相手に添って自分の意見を言えなくなってしまうときは、対等な関係ではないと言えます。

相手と対等な関係でなくなると

の気持ちを大切にすると同時にの気持ちも尊重しましょう。
性暴力は、お互いの関係がでない場面で起こりやすくなります。

動画を見ながら、問題点・とるべき対応を個人でロイロノートにまとめる


展開 背景 方法 実践 成果 課題

より良い人間関係をつくるには？
— ロールプレイを実践してみよう！ —

- ✓ 男女のカップルを想定して実施する
- ✓ より良い人間関係をつくるにはどうしたらよいか考えながら行う。
- ✓ 自分の気持ちをうまく相手に伝える方法を考える

役Bの練習になるように4・6往復程度やろう

役Aセリフカード 気持ちを強要するセリフ 「私(ぼく)のこと好きじゃないの?」 「私(ぼく)と一緒に居たいのに」 「わがまま言うなよ」 「裏のことが大好きだから一緒に居たいのに」 「好きならもっと一緒に居ようよ」 「なんで気持ちをわかってくれないの?」 「一緒に居たくないなら別れよう」 「別の子と遊ぶからもういいよ」 ※相手の気持ちや考えに納得したら、気持ちを受け入れてあげよう。	役Bセリフカード ・相手に共感するセリフ 「そうだよな」 「気持ちわかるよ」「○○だよな」 ・自分の気持ちを伝えるセリフ 「だけど、○○(理由や気持ち)だからさ」 「私(ぼく)は、○○(理由や気持ち)なんだ」
--	---



展開 背景 方法 実践 成果 課題

【ロールプレイの流れ】
カップルを想定して行う

役Aは自分の気持ちを強要する役。

役Bは強要に対し、相手の気持ちを考え、自分の気持ちを上手に伝える役。

役を交代し、同じ流れで行う。

自分が役Bのやり取りを自分のタブレットで撮影し、ロイロノートで提出する。

ロールプレイが終わったペアは活動を通しての感想をロイロノートに記入し、提出する。



展開 背景 方法 実践 成果 課題

改善点や取るべき行動を行うことができたか、実際にやってみて感じたことを記入

役Bが相手を受け入れつつ、自分の意見をはっきり伝えられているペアの動画を全体で視聴

よかった点や自分のペアとの違いについてペアで話し合う

ロイロノートに記入

比べてみればよく分かる
気づいたこと・考えたこと・感じたことを書こう。

① 始めの動画について 気づいたこと： 片方が強くて、片方が弱い。BがAの言いなりになっていて、気が遣っている。 考えたこと： いい関係ではなく、片方が我慢する。辛い形になっていると思った。	② 自分たちがロールプレイをしてみ 気づいたこと： Bさんの役をするときは、磨きすぎても、勝手に相手を気遣って会話していた。 考えたこと： 意外と普段の生活でも、友達同士でもありからなことかも知れないと思った。	③ 他のペアのロールプレイを見て 気づいたこと： Bさんをしていた人がお手本みたいに相手と自分を思いやっていた。 考えたこと： お互いに我慢のしない納得のいく形になっていてとてもいいと思った。
感じたこと： お互いのことを思いやることを実際にすると難しいんだと思った。	感じたこと： Bさんの時は相手を気遣って会話するのが難しかった。	感じたこと： 次の約束をしっかりと、相手の納得のいく代替案を伝えていきたいと思った。

まとめ 背景 方法 実践 成果 課題

- ✓ ロイロノートに提出された個人の考え・意見
- ✓ 自分のこととしてとらえ記入できているものを紹介
- ✓ 授業を通じて学んだこと・今後の生活にどう生かすかを考えをまとめる

今回、いのちの安全学習・性とう向き合うかについての学習を通して、僕たちに起こる心や心の変化とそれとどのように対処したら良いかを学んだ。
具体的には、僕たちは思春期を迎え月経や射精が起こり、性差に変化が現れるがその時期には個人差があることを意識せず相手と同じだと一方的に思い込んだり、気持ちの押し付けをする相手と相手を傷つける危険性がある。そして特定の人と交際したいという感情が芽生えた時には、デートDV(身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力の4種類)を起こさないために、自分と相手を守る心体の距離感を持って行動することが大切だということを知った。
さらに、異性と会話のロールプレイを通して、精神的暴力になるような発言を考えた。好きという気持ちを押し付けるのではなく、相手の理解と共感を持って接しなければいけないと感じた。
僕もこれからの生活で周囲の人が一人一人と心通うこと、多様な考え方や感じ方があることを理解するように心がけようと思う。特定の異性関係だけでなく友達関係など、どんな人間関係でも同じことが言えると思ったので、お互いを尊重したより良い関係を築いていくために今回の学びを生かしていきたい。

まとめとふりかえり…3時間の授業を通して
学んだこと・これからの生活に生かしていきたいことを考えてまとめよう
【キーワード：距離、尊重、個人差、気持ち、身体、理解】

今回の学習を学んで、相手との距離感とは体の距離感だけでなく心の距離感も大事にしていくのが大切ということがわかった。また、考えには人それぞれ個人差があり、相手と意見が合わない場合もないわけではないので、相手の考えも尊重して、これからの生活に活かしていきたいと思った。また、相手の意見を尊重するだけでなく、相手の意見を理解し、お互いが納得できるような距離感を作ったりしていったらよいと思った。相手がどんな気持ちで接しているのか、どんな意見を持っているかを大切に、これからの生活に活かしていきたいと思いました。

背景 方法 実践 成果 課題

まとめ

家庭との連携・共有

3時間の授業について保護者と資料を基に話し合う
保護者より感想を提出していただく

背景 方法 実践 成果 課題

まとめ

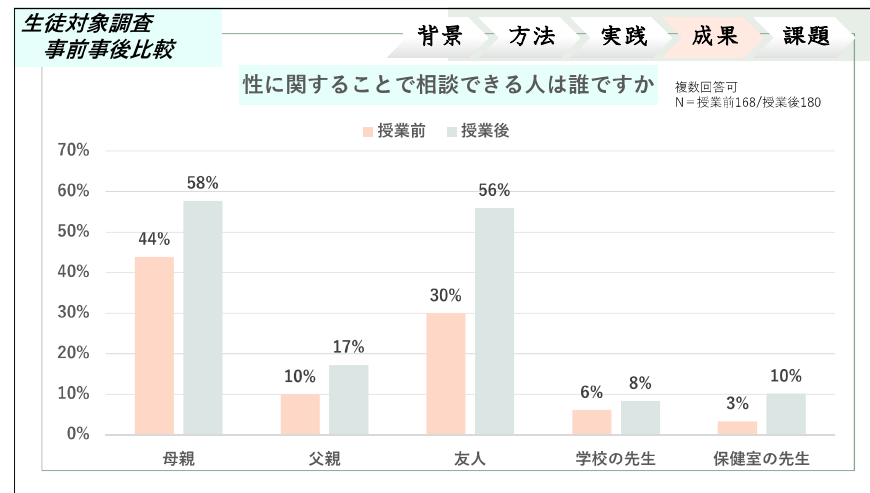
保護者が生徒と話し合った内容—概要—


思春期の学びについて	性教育の重要性、相手を尊重すること、DVについて、コミュニケーションの大切さ
性に関する指導の内容	2次性徴や性的な成熟、DVの問題、相手を尊重する態度、コミュニケーションスキルの重要性
気付いたことについて	性差や個人の感情・距離感の違いへの理解、相手を尊重してコミュニケーションを取ることの重要性
ロールプレイについて	具体例や実際の体験を通じて、理解を深めたこと
親との関係	親子間でのコミュニケーション改善、困ったことがあれば相談する重要性について
社会的課題について	DVや性暴力の問題、相手の気持ちを考慮したコミュニケーションの必要性、社会的課題に対する意識について
ネットとリアルな繋がりと安全性の問題	ネットでの人間関係や安全性、リアルな人間関係との違いについて

生徒対象調査 事前事後比較

背景 方法 実践 成果 課題

【性に関すること】で、知っていることや授業で習ったことや生活の中で耳にしたことがある言葉など、できるだけ挙げてください。
ユーザーローカルテキストマイニングツール (https://wordcloud.userlocal.jp/) による分析



授業研究会 参加者の感想		背景	方法	実践	成果	課題
	感想者	要約				
	小学校養護教諭				タブレットでのロールプレイ動画録画や生徒の意見確認が効率的。担任と養護教諭の連携が素晴らしかった。中学生でもロールプレイングをICT活用で実践できていて感心した。タブレット活用（ワークシート入力、ロールプレイ動画提出、保護者資料共有、QRコード感想記入）が素晴らしい。	
	中学校養護教諭				まとめプリントを家庭で話すことで家庭の性教育のきっかけになり、Googleフォームで保護者からの感想を収集する取り組みは良い。知識を定着させるために行動を重視した1時間の授業が素晴らしかった。	
	中学校教諭				ロイロノート活用授業を見る機会が勉強になった。事前の保護者アンケートと家庭での共有が参考になった。ロールプレイにより生徒が実践しやすく、知識の定着が促進されていた。	
	教育行政指導主事				性に関する指導の重要性と課題解決の意義を学んだ。	
学生					ティームティーチングの授業で専門性を活かし、生徒が自分事として捉えられるようになっていた。養護教諭の専門性を生かし、保健室利用を授業で伝えることで学びを日常に繋げることができた。	




ご清聴ありがとうございました 

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会授業者
 埼玉県志木市立志木中学校
 保健体育科教諭 市橋 亜美
 養護教諭 力丸 真智子

令和6年度 埼玉県「性に関する指導」 指導者研修会 実践発表(高等学校)

埼玉県立北本高等学校 教諭 川尻 鈴ノ介

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

学校紹介




北本高校は今年度50周年を迎える
北本市唯一の普通科公立高校

小中高相互支援事業KISEPをはじめとする
地域交流やボランティア、少人数制の授業を
展開する、面倒見が良い学校です。



はじめに 概要 前時 当日 まとめ

学校紹介




少人数授業 自習コーナー
勉強しやすい環境



協力して盛り上げる行事
文化祭 体育祭 修学旅行



熊谷(8:01) 行田(8:06) 熊谷-北本 26分 快速20分
吹上(8:09) 北湖東(8:13) 蓮座(8:22)
北本駅から北本(8:27)
北本(8:29) 北本駅から北本(8:27)
橋川(8:25) 北上陣(8:22) 上陣(8:20) 宮原(8:16) 大宮(8:11)
大宮-北本 18分
8:01 熊谷発でも通える!
8:11 大宮発でも通える!

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

生徒の実態

挨拶ができる 制服を正しく着用できる ルールが守れる

非常に落ち着きのあり、所謂よい生徒が多い。
進路を見据え、意識高く行動し、何事にも頑張れる・結果が残せる生徒がいる一方で、学習習慣が身につけていない生徒が多い印象も拭えない。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

高等学校学習指導要領解説

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説
保健体育編 体育編（H30. 7月文部科学省）
（ア）生涯の各段階における健康

生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。

⑦ 思春期と健康

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。

なお、指導に当たっては、発達段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

高等学校学習指導要領解説

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説
保健体育編 体育編（H30. 7月文部科学省）
（ア）生涯の各段階における健康

① 結婚生活と健康

結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることに理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。

なお、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

高等学校学習指導要領解説

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説
・保健体育編 体育編（H30. 7月文部科学省）
・第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

3 「体育」及び「保健」

(1) 中学校との関連

(5) 義務教育段階との接続を重視し、中学校保健体育科との関連に留意すること。「保健」では、小学校、中学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができるように内容を明確化しており、義務教育段階の学習内容が定着していることが前提として必要となるものであることから、生徒の実態等を踏まえ、関連する中学校の内容を適宜取り入れ、復習した上で指導することが考えられる。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

フローチャート①

(2) ア 生涯の各段階における健康

心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする

健康課題には年齢や生活習慣などが関わることに理解できるようにする

結婚生活と健康

思春期と健康

※「関係性」の整理
①「関係性」の整理とは、その学習の到達点や学習の過程について、その関係性、及び学習の過程や個人の行動変容や対人関係について理解できるようにする。

※「指導内容」の整理
①「指導内容」の整理とは、その学習の到達点や学習の過程について、その関係性、及び学習の過程や個人の行動変容や対人関係について理解できるようにする。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

初回の授業について

- ・授業の導入で生徒の心をつかむ
- 性に関する指導の重要性
- みんなのイメージする性教育とは

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

1～7の授業について

- ・教科書に準ずる形での授業実践
- 各単元で大切なことは何か
 - まとめる(要約する)練習
 - 発表する(表現する)練習
 - 互いに問題解決のため話し合う
- 性について普段自分が感じていること考えていることをそれぞれの単元から課題として振り返る時間を作る。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

前時の授業について

- ・まとめ I (スライド・発表原稿作成)
- Google Jamboardによる編集・まとめ

思春期と健康
学んだこと
・女性科と性教育 (目録、説明)
・男性科と性教育 (検査、マスターベーション)
・検査を受けたら、医師と話をしよう
・検査結果が正常なら安心、それ以外なら不安を感じること

大切なこと
・医師のアドバイスを受ける
・心身に異常を感じたら、自分やコントロールすること

性教育 エイズとその予防
大切なこと
・一面的な情報でもわかる
・確信がある
・相手への配慮が大切
・コンドームの使用、パートナーとの検査、避妊

性意識と性行動の選択
学んだこと
・性意識の発達
・親への理解
・信頼できる情報源と性行動の選択

大切なこと
・性意識の発達も、責任を持って行動すること
・正しい情報をもとに行動すること

避妊法と人工妊娠中絶
学んだこと
・避妊法の種類 (ピル、コンドーム、避妊手術、緊急避妊薬)
・避妊法は「性行為」に
・人工妊娠中絶 (妊婦による胎児の除去) 手術による胎児の除去
・避妊法は「性行為」に
・避妊法は「性行為」に

大切なこと
・避妊法は「性行為」に
・避妊法は「性行為」に
・避妊法は「性行為」に

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

前時の授業について

- ・発表原稿の活用

発表原稿シート

私たちは「
」についてまとめました。

ここでは主に
・
・
・

そこから、
「
」
が大切であることを学びました。

以上です。ありがとうございました。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

- 各グループA～Eの発表
- 問題提起
「どうすれば性課題を解決することができるか」
- 課題解決(グループワークで話し合い)
- 発表とまとめ



はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

当日のワークシート

性教育ワークシート

〇グループ活動・発表 他の班の発表から、わかったことを書き出そう！

- A 初産期と健康
- B 性差別と性行動の選択
- C 性感染症・エイズとその予防
- D 妊娠・出産と健康
- E 避妊法と人工授精中絶
- F 結婚生活と健康

メモ

〇彼/彼女に伝えるべき内容を考えるために、先だてで書き出してみよう！

個人

社会

〇彼/彼女

今の授業で書いてもらったことをイメージしながら記入しよう！

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

- 各グループA～Eの発表

妊娠・出産と健康

- 皆さんがかげがえのない存在であること
- 妊娠・出産・育児について

パートナーの協力・参画が不可欠であること

補足や伝えたいことをスライドで作成

妊娠・出産と健康

<学んだこと>

- 受精・妊娠・出産までの流れ
- 妊娠中は胎児への影響を考え飲酒や喫煙は控えること
- 出産には母体の負担が大きいこと
- マタニティブルー・産後うつ
- 母子保健サービス

<大切なこと>

- 周囲のサポートを受けること
- パートナーとの協力が大切であるということ



はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

生徒の取組①

「生涯を通じる健康」生涯の各段階における健康 —まとめ— ワークシート

〇グループ活動・発表 他の班の発表から、わかったことを書き出そう！

- A 初産期と健康
欲求不満からうつが起る
個人差がある、周囲からのサポートが必要
- B 性差別と性行動の選択
差別への向き、互いの性を尊重しよう
- C 性感染症・エイズとその予防
避妊にもつながる
梅毒などの予防
- D 妊娠・出産と健康
時期を把握し気を付ける
経験が確かならう母子保健センターの活用
- E 避妊法と人工授精中絶
世帯での身体的負担や精神的負担が大きい
様々な避妊法について話し合う
- F 結婚生活と健康
家事、育児の負担
パートナーと話し合う

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

- 問題提起
「どうすれば性課題を解決することができるか」

課題① 性被害

課題② 人工妊娠中絶件数

年	件数
2010	12,100
2011	12,000
2012	11,900
2013	11,800
2014	11,700
2015	11,600
2016	11,500
2017	11,400
2018	11,300
2019	11,200
2020	11,100
2021	11,000
2022	10,900
2023	10,800
2024	10,700
2025	10,600
2026	10,500
2027	10,400
2028	10,300
2029	10,200
2030	10,100

課題③ 性感染症

報告された梅毒の患者数

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

生徒の取組②

課題解決

※話し合い活動
「どうすれば性課題を解決することができるか」

個人

- 保健も授業もまじめに受ける
- 性に関する考え方を考える

社会

- スマホの広告 (YouTube等)
- SNSへの発信 (インスタ、X等)
- チラシを配る

個人

- 相手の意見を大事にする
- 慎重に

社会

- デマを信じない
- 防災無線で人々に危険を知らせる

個人

- 理解を深める
- 相手の気持ちを思いやる。
- 異性への知識や理解を深める

社会

- LGBTや多様性を広める
- 性のあり方を考えなおす
- 性被害を減らす

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

本時の流れ

生徒の取組③

課題解決

※話し合い活動
「どうすれば性課題を解決することができるか」

○日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう？

個人

- 社会も保健も正しい小冊子も自分で調べる
- メディアなどを通じて正しい小冊子を大切さを発信していく

社会

- NHKもこの国の中心国の機関がメディアを通じて発信していく

○日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう？

個人

- 今回のことを教える
- 授業中
- 告知する

社会

- 性被害者の声
- 正しい小冊子を配る
- メディアを通じて発信

性被害者を知る
保健の授業"性"まじかに習得

性被害者の声
保健の授業"性"まじかに習得
保健の授業"性"まじかに習得
保健の授業"性"まじかに習得
保健の授業"性"まじかに習得

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

とめどない 学びの姿勢

性に関する情報とどう向き合うのか

文部科学省HP
厚生労働省HP

・学習の広がり

動画で勧める ⇒ 動画作成
国の機関 ⇒ 制度や法律について
どここの機関が適切か？

生活習慣や感染という意味では家庭ともコラボしたり、
専門家や警察と連携し、性課題について今一度考えたり。

はじめに 概要 前時 当日 **まとめ**

生徒の取組⑥ (感想)

○まとめ

今回の研究授業を理解できたことは、元々もて
いる性の知識は本当に正しいのかどうか、よりよ
い適した意見が決められているところがあるのでは
ないかとみっけ直すいい機会になった。個人で
考えている知識だけでは物足りなさがあり、
正しい知識を知るのは大事だと思った。
その時に正しい知識がなく性交してし
まったりして大変なこと。望まない妊娠をし
てしまったりしたらどうしようなことを考えて
見るとやはり今回の授業で学んだことは
忘れずに少しでも覚えておこうと思いました。
今回の授業で新しく知ったことやイメージがどのように変わったか書いてみよう。

29

はじめに 概要 前時 当日 **まとめ**

まとめ

最後は生徒の言葉でまとめさせる

課題設定の理由
アウトプットしやすい（多くを語れる）

授業のゴールイメージと比較し、生徒の評価や
授業改善につなげる

30

はじめに 概要 前時 当日 **まとめ**

最後に


授業は生き物！？

- 生徒の声を聴くことができる
- 活発な意見交換ができる
- 前向きに取り組むことができる

31

はじめに 概要 前時 当日 **まとめ**

ご清聴ありがとうございました



埼玉県マスコット「コバトン」

32

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会

【小学校部会】

令和6年11月27日（水） 本庄市立藤田小学校
第4学年「体の発育・発達」（ア）体の発育・発達
教諭 井上 実香（T1）
養護教諭 塩澤美保子（T2）

【中学校部会】

令和6年10月16日（水） 加須市立昭和中学校
第3学年「健康な生活と疾病の予防」性感染症とその予防
教諭 久保あかね

【高等学校部会】

令和6年10月23日（水） 県立進修館高等学校
第1学年「現代社会と健康」（イ）現代の感染症とその予防
性感染症・エイズとその予防
教諭 梨本 雄太

(小学校部会)

令和6年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和6年11月27日（水）

4 会 場 本庄市立藤田小学校 本庄市牧西1171

5 参加者 (1) 県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校（小・中学部設置）の教職員（教諭、養護教諭、保健主事等）
※本庄市立小学校においては各学校1名の参加をお願いします。
(2) 各市町村教育委員会の指導主事等

6 日 程

(1) 受 付	13時00分～		(東昇降口)
(2) 全体会	13時15分～	13時35分	(体育館)
(3) 公開授業	13時45分～	14時30分	(2階 多目的ホール)
(4) 研究協議	14時50分～	16時20分	(体育館)

7 公開授業

学年	授業者	単元名
4年	井上 実香 教 諭 (T1)	体の発育・発達
	塩澤美保子 養護教諭 (T2)	(ア) 体の発育・発達

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	薬師寺將二
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	龍野 雅美
本庄市教育委員会学校教育課	指 導 主 事	久保宗一郎

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
八潮市立八幡小学校教諭	委員	藤田 晃輔
入間市立東町小学校教諭	委員	犬島 未歩
志木市立志木中学校養護教諭	委員	力丸真智子
加須市立昭和中学校教諭	委員	久保あかね
熊谷市立熊谷東中学校教諭	委員	今成 友美
県立北本高等学校教諭	委員	川尻鈴ノ介
県立進修館高等学校教諭	委員	梨本 雄太
県立三郷高等学校養護教諭	委員	宮尾 仁美

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・お車でお越しの際は、敷地内校舎北側に駐車してください。駐車しきれない場合は、近くの藤田公民館をご利用ください。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

本庄市立藤田小学校への御案内



QRコードより藤田小ホームページをご覧ください。

駐車場の御案内

地図を掲載していましたが、実施報告書上では省略します。

(2) 体の発育・発達

(ア) 体の発育・発達

(イ) 思春期の体の変化

1 指導内容の系統性

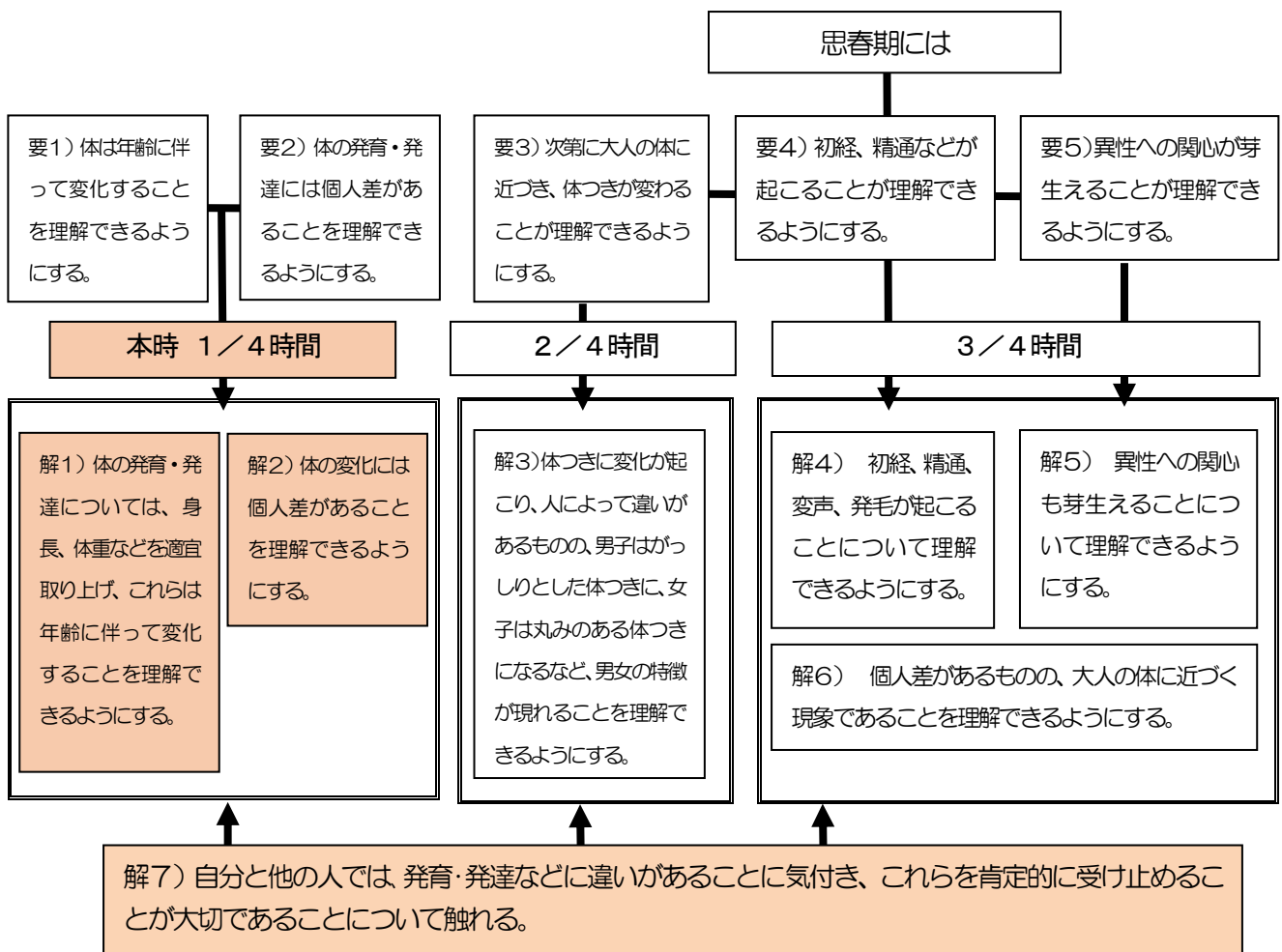
中学校では、生殖にかかわる機能の成熟や成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に表れる変化や体の中にかかる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、

- ① 発達の段階を踏まえること
 - ② 学校全体で共通理解を図ること
 - ③ 保護者の理解を得ること
- などに配慮することが大切である。



3 知識を活用した学習

第1時は、体の年齢に伴う変化や個人差について正しく理解し、発育・発達の傾向やしきたには個人差があることを自分の言葉で表現できるようにする。

【導入】

<先生方の4年生の身長あてクイズ>

児童の身近な存在である教師の身長の変化を提示し、課題をより身近なものに自分事として捉えられるようにする。
そしていくつか挙げられる発育に伴う体の変化から、本時で取り上げる「身長の伸び」に焦点を当てていく。

<本時の課題>

わたしたちの体は、年れいとともに、どのように変化してきたのか考えよう。

【展開 1】(習得①)

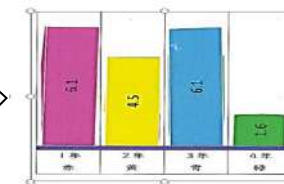
すくすくテープ(入学時から4年生までの身長の伸びの合計の長さの紙テープ)を使って、これまでの身長の伸びを確認する。

すくすくテープ



<発育グラフの作成>

すくすくテープを切り分け、学年ごとの身長の伸びの棒グラフを作る。



オクリンクで自分のグラフを送り、みんなのグラフの共通点や相違点を考える。

指導すべき内容

- 身長や体重は、年齢に伴って変化すること。
- 体の変化には個人差があること。

【まとめ】(習得②)

体は年齢があがるとともに、発育する。発育には、個人差がある。

【展開 2】(活用①)

<ロールプレイ>

発育で悩んでいる人へのアドバイスを考え、ペアでロールプレイを行う。

評価【知識・技能】(観察・ワークシート)

体は年齢に伴って発育・発達すること、及び、発育・発達には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

なやんでいる子にアドバイスしよう

おひやみ1

最近、みんな背がのびて大きくなったのに、ぼくだけ、背がのびなくて…なやんでいるんだ。



ふじたさん

おひやみ2

4年生になったら、急に背がのび始めて、背のじゅんも、一番後ろになっちゃった。なんか、はずかしいな。



しょうこさん



第4学年1組 体育科（保健領域）学習指導案

令和6年11月27日（水） 第5校時 2階多目的ホール

14名

本庄市立藤田小学校 指導者 教諭 井上 実香（T1）

養護教諭 塩澤美保子（T2）

1 単元名「体の発育と健康」

2 単元について

本単元は、体の発育・発達について、その一般的な現象や思春期の体の変化などについて理解できるようにすること、体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方について理解できるようにすること、さらに体の発育・発達に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて考え、それを表現できるようにすることをねらいとしている。

具体的には、①身長や体重など、体は年齢に伴って変化すること ②体の発育・発達には個人差があること ③思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること ④思春期には初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること ⑤体をよりよく発育・発達させるためには適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であることについて理解を深める。

3 児童の実態

(1) 知識及び技能

(掲載省略)

(2) 思考力、判断力、表現力等

(掲載省略)

(3) 学びに向かう力、人間性等

(掲載省略)

【アンケート結果】

令和6年10月23日（水）実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか？	14	0
2 健康は大切だと思いますか？	14	0
3 大人と子どもの体はどのような所が違うと思いますか？（記述）		

身長・頭脳・体重・骨の形・歯の数・力の強さ・子どもを作れるか・分からない			
4	自分の体が大人に近づいているなど感じることはありますか？	3	11
4-1 それはどんな時ですか？（記述）			
月経がきた時・身長が伸びた時・足が成長痛になった時・ご飯をいっぱい食べている時・力が強くなった時			
4-2	大人に近づいていると感じるとき、不安になったり悩んだりしましたか？	1	13
5	異性の友達と仲良く過ごすことはできていますか？	14	0
6	異性の友達と話すとき、はずかしくなるときはありますか？	2	12
7	異性にちょっかいを出してしまうことはありますか？	2	12
8	異性と仲良く過ごしたいですか？	13	1
9	おうちの人と自分の体について話すことはありますか？	6	8
10	自分の体について学習することは大切だと思いますか？	14	0
11 保健の学習で知りたいことはありますか。（記述）			
生理のこと・男の人は精子が初めて出る時どのくらい出るのか・体の細胞・健康について			

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

保健領域においては、単に知識を理解させるだけでなく、いかに「自分事」として捉え、自らの健康生活に積極的に活用し、実践したいという意欲を伴った「生きて働く知識」を育むことが大切である。児童は、「大人になること」＝「体が大きくなること」と捉えがちであるが、本単元では「体の中の成長」もあることを伝え、今後自分や周りに起きる変化について理解し、適切に対応できるように指導する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

本単元では、「知識を習得」し「活用」する、という流れで1時間の授業を構成している。授業後半には、体の発育発達に関わる身近な事象から課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現させる活動を充実させる。また、ロールプレイやケーススタディを取り入れ、習得した知識を活用し他者にアドバイスをする経験を通して、思考力、判断力、表現力を高めていきたい。

(3) 学びに向かう力、人間性等

単元を通して、体の発育には「個人差」があることを伝えていくことで、児童が感じる不安を取り除けるようにする。また、思春期の体の発育に対して恥ずかしいと感じる児童も多いが、肯定的に受け止められる態度も育てていきたい。

以上のことから、次のような手立てを講じることとする。

- ① 児童が知りたい、考えたいと思えるような教材を準備するために、事前アンケートを取り、児童の実態を把握する。また、発問や声掛けの精査を行う。
- ② 児童が興味関心をもつよう、自分の体の変化を可視化させ、自分事として捉えさせる。(ICTの活用)
- ③ 養護教諭をT2とし、身長など既存の健康データの活用、専門的な知識の解説を行うとともに、授業後の相談先の1つとして、関係づくりを行う。
- ④ 恥ずかしいと感じないように個人学習、グループ学習、全体指導の場面を精査する。また、ゲーム形式やクイズ形式も取り入れ、学級の雰囲気や和らげる場づくりを行う。
- ⑤ イメージしづらいことはICTを用いて説明することで理解を深めさせる。
- ⑥ 習得した知識を活用する場としてロールプレイやケーススタディを取り入れる。
- ⑦ 身近な体験を伝えるために保護者アンケートを取り、学習に体験談等を取り入れる。

5 単元の目標

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。 〈知識及び技能〉
- (2) 体の発育・発達について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとすることができるようにする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思春期には体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることや変声、発毛が起こることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。</p> <p>②体をよりよく発育・発達させるための生活について、学習したことを自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして適切な解決方法を考え、説明している。</p>	<p>① 体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習を通して、自分の生活を振り返り、今後のよりよい生活の仕方について考えることに進んで取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全4時間） 本時は第○印 ※主体的に学習に取り組む態度は単元を通して適宜評価していく。

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
①	<p>I ねらい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について理解できるようにする。</p> </div> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身長当てクイズをする。 2 本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 3 入学時から4年生までの自分の身長の伸び量クイズを行う。 (児童一人一人の伸び量の長さにした「すくすくテープ」を配布) 4 すくすくテープを使って、自分の発育量を知る。 5 発育・発達について知る。 				

	<p>6 グラフを使って、毎年の発育の特徴について考える。</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <p>8 ロールプレイを行う。</p> <p>9 ふりかえりを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長や体重は年齢に伴って変化すること。 ・体の変化には個人差があること。 </div>	①			<p>発言の観察 学習カード の記入</p>
2	<p>I ねらい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることや変声、発毛が起こることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付け、説明することができるようにする。 </div> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シルエットクイズを行い男女の体つきの違いについて考える。 2 本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 3 これから起こる体つきの変化について予想する。 4 成長発見ゲームを行う。 5 思春期に起こる体つきの変化について確認する。 6 身近な大人の体験談を聞く。 7 体の変化が起こる時期には男女差、個人差があることを知る。 8 学習のまとめをする。 9 ケーススタディを行う。 10 ふりかえりを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の体つきの変化には男女差、個人差があること。 ・思春期には変声、発毛が起こること。 </div>	②	①		<p>発言の観察 学習カード の記入 ワークシ ートの記入</p>
3	<p>I ねらい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には初経、精通が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連づけたりするなどして適切な方法を考え、説明することができるようにする。 </div> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マンガ吹き出しクイズを行い体の中に変化が起こることを知る。 2 本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 3 初経・精通について知る。 4 体の中の変化について考え、まとめる。 	③			<p>発言の観察</p>

	<p>5 思春期には異性への関心も芽生えることを知る。 6 学習のまとめをする。 7 ケーススタディを行う。 8 ふりかえりを行う。</p> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には初経・精通が起こること。 ・思春期には異性への関心も芽生えること。 		②		<p>学習カードの記入</p> <p>ワークシートの記入</p>
4	<p>I ねらい</p> <p>・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート結果から、本時のねらいをつかむ。 2 給食の献立から体がよく育つために必要な食物について知り、よりよい生活について考える。 3 よりよい成長に必要な運動の仕方について知り、よりよい生活について考える。 4 休養と睡眠の役割について知り、よりよい生活について考える。 5 学習のまとめをする。 6 ふりかえりを行う。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるためには、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であること 		④	①	<p>発言の観察 学習カードの記入</p>
<p>【他教科等との関連】</p> <p>特別活動 (2) イ 「大切な命」</p> <p>外部講師として助産師をお招きし、「体つきの変化は、新しい命を作る準備」であること、命の誕生の素晴らしさを通して、自分の命の大切さを実感させる授業とする。</p>					

授業実施の実際の日程

10月初旬	<p>性に関する教育を行うことを保護者への周知（校長名で文書配布）</p> <p>フォームによる保護者へのアンケート（体の発育・発達で不安に思ったことなど）</p>
10月中旬	<p>児童への事前アンケート</p>
11/27（水）	<p>【本時】 第1時 変化していく体</p>
12/2（月）	<p>第2時 思春期の体の変化（体の外の変化）</p>
12/3（火）	<p>第3時 思春期の体の変化（体の中の変化）</p>
12/9（月）	<p>【特活】 外部講師による授業 「命の誕生」</p> <p>体の変化は新しい命を作る準備 命はかけがえのないもの かけがえのないみんな</p>
12/10（火）	<p>第4時 よりよい発育のために</p>


8 本時の学習と指導（1／4）

（1）ねらい

身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について理解できるようにする。 〈知識及び技能〉

（2）資料及び準備するもの ・発育量の紙テープ ・ワークシート ・タブレット ・教科書

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
		T1 学級担任 T2 養護教諭
導入 5分	<p>1 藤田小学校の先生方の小学生4年生時身長あてクイズをする。</p> <p>Q1 ○○先生の小学生4年生の時の身長はどれくらいだったと思いますか？</p>	<p>T1 ○児童の身近な存在である教師の小学生の頃の身長を事前に調べ、現在身長の高い教師も小さかった事例を紹介する。</p> <p>T1 ○「大きさ（身長）」の違いに気付かせるようにする。</p> <p>T1 ○4年生は、大きな変化が起こっている最中であることをおさえる。</p>
展開 20分	<p>2 本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>【学習課題】</p> <p>㊦ わたしたちの体は、年れいととも、どのように変化してきたのか考えよう。</p>	
	<p>3 入学時から4年生9月までの身長の伸び量クイズを行う。</p> <p>Q2 自分は、1年生の時から、どれくらい大きくなっただろうか？</p> <p>4 すくすくテープを使って、これまでの自分の身長の伸びを確かめる。</p> <p>すくすくテープ</p>  <p>※エクセルデータを活用し作成</p>	<p>T1 ○10 cm刻みで、予想される伸び量に挙手をさせる。</p> <p>T2 ○おおよその大きさを手で示し、児童がその大きさを想像しやすいようにする。</p> <p>T2 ○入学時から4年生の9月までの身長の伸びを表したものが「すくすくテープ」であることを説明し、配布する。</p> <p>(1年生時の伸び：赤・2年：黄色・3年：青 4年：緑)</p> <p>T1 ○児童を隣同士でペアにさせ、テープの長さ分くらいしゃがませ、伸びを体感させるよう声かけを行う。</p>
	<p>5 発育・発達について知る。</p> <p>主たる学習内容（知識） 身長や体重は、年齢に伴って変化すること。</p>	<p>T2 ○「発育・発達」は身長だけでなく、身長が伸びることは、骨や筋肉なども伴って成長するため、体重の増加も自然な変化であることを伝える。</p>

展開
(考える)

6(1) テープを色(学年)ごとに切り、ワークシートに貼り付け、自分の身長伸びのグラフを作成する。その後、オクリンクで送る。作業が終わったら、気付いたことを記入する。

テープが途中で色が変わっているのは、それぞれの学年で伸びた身長を表しています。色ごとにテープを切り、グラフを作ります。できたグラフを写真に撮って、オクリンクで送ってください。

(2) みんなのグラフを見て、共通点や相違点について考える。

Q3 みんなのグラフを見て、気付いたことは何だろう??

〈予想される反応〉

- ・伸びている学年はバラバラ
- ・〇〇さんと〇〇さんの伸び方は似ている
- ・自分の予想と違った

主たる学習内容(知識)
体の変化には個人差があること。

7 学習のまとめをする。

主たる学習内容(知識)

㊸ 体は年齢があがるとともに、発育する。発育には個人差がある。

T1T2 ○机間指導を行う。

T1 ○作業が終わった児童は、気づいたことを記入するよう声かけを行う。

T1 ○グラフを、伸びた学年などに注目しながら、児童たちと一緒にグループ分けをし、共通点や相違点について考えをまとめる。



T1 ○身長伸びの特徴で、次の2点を抑える。

- ・全く伸びていない人はいない
- ・毎年伸び方が違う

T2 ○発育には「個人差」があることを伝え、個人差を肯定的に捉えられるように助言する。



T1 ○児童とのやり取りをともにしながら、まとめのこぼを練り上げて、板書する。

8(1) 発育で悩んでいる人へのアドバイスをワークシートに記入する。

【悩み】

- ① なかなか背の伸びない子
- ② 自分だけ成長が早い子



T1T2 ○机間指導

○本時で学んだことを生かしてアドバイスできるように促す。

なやんでいる子にアドバイスしよう

お悩み1
さいせん せ おお
最近、みんな背がのびて大きくなったのに、
せ
ほくだけ、背がのびなくて...なやんでいるんだ。
ふじたさん

お悩み2
なんせい きゆう せ はじ せ
4年生になったら、急に背がのび始めて、背の
いせほんう
じゅんも、一番後ろになっちゃった。なんだか、
はずかしいな。
しょうごさん

まとめ（深める）（まとめる） 20分

(2)実際にペアでアドバイスのロールプレイを行う。



T1T2 ○机間指導

T1 ○2～3グループを前で発表させ、よかったところを全体で確認する。

T2 ○体の成長についての悩みについて考え、疑似体験することで、体の変化に対する不安や悩みは、個人差はあるが、だれでも経験することを伝え、不安を軽減させられるようにする。

◆体は年齢に伴って発育・発達すること、及び、発育・発達には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

(ワークシート) ※授業後【知識・技能】

△「努力を要する」状況 (C) と判断される児童への指導の手立て

・これまでの学習内容を、学習カードや黒板の板書などで振り返らせ、確認させる。

◎「十分満足できる」状況 (A) と判断される児童の具体的な姿

・年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことに加え、グラフから読み取ったことや話し合いから分かったことを記述している。

9 振り返りをする。

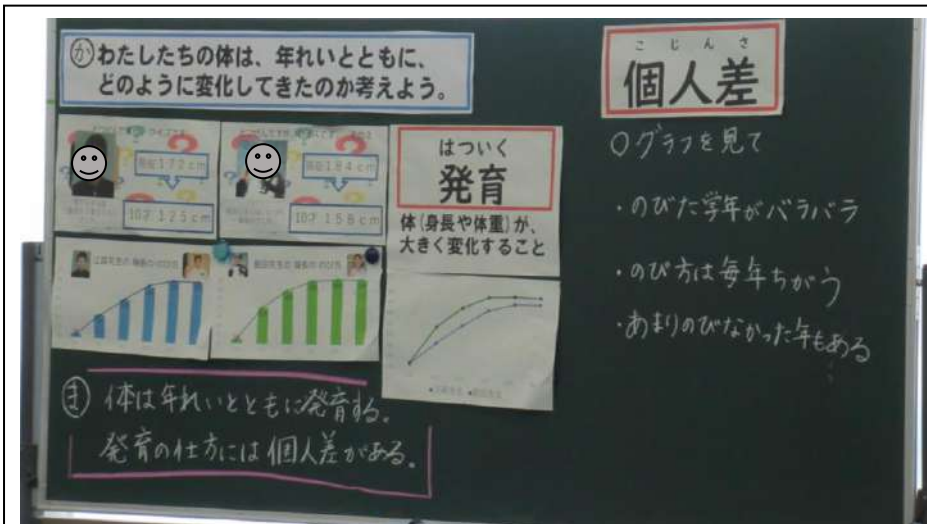
T1 ○ワークシートに振り返りを記入させる。

T2 ○質問したいことや不安や心配事があったら、いつでも保健室にも相談してよいことを伝え、個別の指導につなげていく。

T1 ○次の時間の予告をする。

9 板書計画 (黒板)

(大型TV)



自分は1年生の時から、どれくらい大きくなっただろう？

すくすくテープ

1年生ののび	赤
2年生ののび	黄
3年生ののび	青
4年生ののび	緑

すくすくグラフを作ろう

- ①色ごとに切る。
- ②紫の線にあわせてこのじゅんで、はる。
- ③グラフができたらタブレットで写真をとる。
- ④オクリンクで送る。

1年	2年	3年	4年
赤	黄	青	緑
6.1	4.5	6.3	1.6

㉔ わたしたちの体は、年れいととも、どのように変化してきたのか考えよう

自分の身長が、毎年どれくらい伸びたか調べましょう。

1年 赤	2年 黄	3年 青	4年 緑

グラフをみて、気がついたことがあれば、書きましょう (メモ)

この線に合わせて紙テープをはりましょう。

㉕

おなやみ1

最近、みんな背がのびて大きくなったのに、
ぼくだけ、背がのびなくて・・・なやんでいるんだ。

アドバイス

Four horizontal lines for writing advice.



ふじたさん

おなやみ2

4年生になったら、急に背がのび始めて、背のじゅんも、一
番後ろになっちゃった。なんだか、はずかしいな。

アドバイス

Four horizontal lines for writing advice.



しょうこさん

ふりかえりを書きましょう。

Four horizontal lines for writing a reflection.

保護者宛文書

4年生保護者様

令和6年10月7日

本庄市立藤田小学校
校長 高月 陽子
4年1組担任 井上 実香
養護教諭 塩澤美保子

保健の学習について（お知らせとお願い）

日頃より本校の教育活動に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。

さて、4年生は今後、保健の授業で「体の発育・発達」について、下記のとおり学習をします。

思春期の入り口にさしかかっている4年生にとって、今後、心や体がどのように変化していくか知ることは重要なことです。また、体の発育発達の学習を通じて、自分自身と周りの人たちを大切にす気持ちを育てたいと考え、命の大切さ・誕生という内容で、外部の先生もお呼びして、お話をお聞きする予定です。

授業の趣旨を御理解の上、授業実施に際して、何か御不安なことや、配慮が必要なことがありましたら、いつでも遠慮なく、担任または養護教諭まで、御相談ください。

【授業・講話の予定】

時期	教科・時間数	内容
11月末～ 12月上旬	体育（保健） 4時間	体の発育・発達 個人差 思春期の心の変化 思春期の体の変化（体の外や中の変化）
12月9日（月）	特別活動 1時間	「命の誕生」 講師 ○○○助産所 △△△△様

※保護者の方へお願い

授業の中で、大人になるにつれて、起こった体の変化について、子どもたちにとって一番身近な大人である保護者の皆様の体験談等を教えていただければと思います。

データの収集は匿名で行っております。いただいた体験談は、匿名で授業中に紹介させていただきます。御賛同いただける保護者の方は、下記QRコードから、アンケートに御回答ください。御協力をお願いいたします。

（回答例・小学生の時、みんなは背が伸びたのに、自分は伸びず、どうして自分だけと悩んでいた。

- ・声が低くなって、みんなの前で話すのが、恥ずかしかった。
 - ・生理に初めてなった時、家の人喜んでくれた。大人に近づいたみたいで嬉しかった。
- など。嬉しかったことも不安だったことも、体験談お待ちしております。）

QRコード

回答締切
10月25日（金）

養護教諭 説明資料

T2として、「個人差」を説明する場面で話す内容

今みんなが言ってくれたように、身長は毎年同じように伸びるわけではありません。

そして急に伸びる時期やどれくらい伸びるかは一人一人ちがいます。このことを「個人差」と言います。

最初にクイズに出した〇〇先生と△△先生ですが、生まれてから大人になるまでの大きくなり方をインタビューしてグラフにしてみました。こっちが〇〇先生（貼る）そしてこっちが△△先生です。（貼る）

生まれてからみんなの今までも、（0～10歳をさして）これから（10歳以降をさして）の発育の仕方、体の大きくなり方が、人によって違うのは当たり前のことです。

今日も入れてあと3回、保健の学習で、体の発育について勉強します。みんなの体がどういう風に大きくなるか、大人に近づくか、という勉強です。その時に、覚えておいてほしいのが、この「個人差」です。「一人一人ちがって当たり前」「個人差があるから、人と比べなくて大丈夫。」このことを、覚えておいてください。

外部講師活用について

1 目的

産婦人科医や助産師、保健師の方などに、多様な経験に基づく専門的で具体的なお話をさせていただくことで、児童への高い教育効果が期待できる。

2 講師活用の場面

今回の授業においては、教科横断的に考え、体育科保健領域の授業ではなく、特別活動の授業の一環として、授業を行っていただくことにした。外部講師の授業を、本単元の第3時を終了した時点にし、第1～3時で学んだ思春期の体や心の変化を復習しながら、その変化は新しい命を生み出すための大切な変化であること、命は大切であること、をお話していただくこととした。





3 講師の選定

本校では性に関する指導で外部講師をお招きしたことがなかったため、近隣学校より情報を得た。今回は、近隣小中学校で授業を多数行われている助産師の先生に講師をお願いすることとした。

4 活用にあたり

外部講師の活用にあたり、その教育効果を発揮していただくため、十分な打ち合わせを行う必要がある。そこで、授業の目的や学校側の指導してもらいたい内容を記載した「打合せシート」を作成した。シートは、事前に学校でお願いする部分を記載し、打ち合せ前に講師に送付した。打ち合せ当日は、講師と相談しながら、色付き枠部分を決定した。学校で準備しておくもの、配慮事項等、綿密に打ち合わせた。

5 授業の様子

	学習内容・ねらい	方法
導入 5分	1 講師自己紹介・助産師の仕事	おへその話（紙芝居） 
講話 20分	2 成長する体・男女の違い 3 受精卵の成長～出産 	パネル・胎児人形・月経モデル・胎児の心音や産声の音声データ・新生児人形・出産説明用の子宮胎児骨盤モデル・
	4 受精卵の大きさ 5 妊婦体験 6 赤ちゃん抱っこ 	折り紙に空いた穴を見つける 妊婦ジャケット装着（男女1名ずつ） ベビー人形を抱っこ（全員） 
講話 5分	7 まとめ	

6 成果

【児童の感想】

- ・自分の命の大せつさがわかってよかったです。これからも、自分を大切にしようと思います。
- ・ぼくは、うまれる前に死んでしまう子もいて、ぼくたちは、きせきでえらばれてうまれてきたんだなと思いました。苦手なことや苦手な食べ物があっても、生まれる前にしんでしまう子のことを考えて、これからも生きていきたいです。
- ・私は、赤ちゃんはこうやって、おなかの中で育って生まれると分かりました。私も、自分の体を大切にしていりレーのように続いてきたバトンを未来にわたしていきたいと思いました。

【授業を参観いただいた性に関する課題解決検討委員より】

- ・外部講師の助産師の先生が（以下、『外部講師』）、温かく優しい雰囲気でお話していただき、保健の学習内容（精子・卵子・月経・射精・体の変化）を、肯定的に受け止められた。
（成長が楽しみ、命のバトンをつなぎたい、など）
- ・外部講師がリアルな体験を話してくださることで、子ども達の興味が引き付けられた。
- ・外部講師が、こちらのねらいの通りの授業を展開してくださっていた。打合せシートを活用した、事前の綿密な打ち合わせで、こちらのねらいを明確に伝えられた成果だと考える。

性に関する指導 打合せシート

学校名	本庄市立藤田小学校（ほんじょうしりつふじたしょうがっこう）		
担当者	養護教諭 <small>しおざわみほこ</small> 塩澤美保子	連絡先	0495-22-2981（藤田小） 〇〇〇〇〇@honjo.sas.ed.jp
打合せ実施日時	12/4(水)15:00～	打合せ方法	対面 オンライン・その他
授業日時	令和6年12月9日（月） 第5校時 13:00～13:45		
対象学年・人数	4年生児童（男子6 女子8） 計14名		
会場	4年1組教室		
保護者参加	なし（事前にお便りして先生の授業があることは周知済みです。）		
授業のねらい （外部講師に授業で話していただきたい内容を含む）	<p>◎「新しい命の誕生」「命の大切さ」「かけがえのない命（自分）」について</p> <p>生命がかけがえのないものであること。卵子と精子は「命のもと」であること。生命誕生の神秘など、先生の御経験をもとにお話してください。なお、性行為等については可能な限り深入りしない方向でお願いいたします。</p> <p>また、先生にお越しいただく前に、保健体育で思春期の体の外・中の変化について学習をします。命の大切さを通して、子供たちが、習った体の変化を肯定的に捉えられるようお話いただけますと幸いです。</p> <p>なお、本学級の児童は、大変素直で優しいです。担任が現在妊娠中で、新しい命の誕生を楽しみに温かく見守ってくれています。一方、年齢より幼い印象があり、難しいことの理解は困難な面もあります。</p>		
事前学習の内容 （既習内容）	<p>【小学校】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 体の発育・発達（年齢に伴う変化・個人差）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 男女の特徴（思春期の体の外の変化）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 初経・精通など（思春期の体の中の変化）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 異性への関心（思春期の心の変化）</p> <p><input type="checkbox"/> 体をよりよく発達・発育させるための生活（本時の後、学習予定）</p> <p><input type="checkbox"/> （理科）人は母親の子宮の中で育ち、生まれること</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>		
授業の流れ （進行時間配分）	<p>授業時間 45分（13:00～13:45）</p> <p>最初の2分程度で先生の御紹介をさせていただいた後、進行等は先生にお任せできればと考えております。流れはお任せいたします。</p>		
その他 （配慮が必要な児童生徒の有無）	<p>・（姉に子供がおり）叔父になっている児童がおります。そのことはクラスメイトに話しておりません。本人も複雑な思いがあるようなので、御配慮お願いいたします。</p>		

講師の先生にお伺いしたいこと

講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠の奇跡 ・出産の素晴らしさ ・ ・陣痛・狭い産道・回旋・産声・心音 ・第二次性徴とは（簡単に触れてステキな成長であること） ・個人差があること（体験を踏まえて）
使用機器 必要物品	<p>パソコン <input checked="" type="checkbox"/> 持参する（Windows, Mac, その他）※HDMI 準備</p> <p style="padding-left: 150px;"><input type="checkbox"/> 学校でPCを用意（必要台数 台・ ）</p> <p style="padding-left: 150px;"><input type="checkbox"/> 使用しない</p> <p>プロジェクター <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない</p> <p>マイク <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない ※ポータブル拡声器準備</p> <p>その他（スライド送り持参</p>
配布物 (変更可)	<p><input type="checkbox"/> 事前にデータをいただく（学校で必要部数を印刷、準備）</p> <p><input type="checkbox"/> 当日にデータをいただく（先生到着後、すぐに学校で印刷、配布）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当日に配布物をいただく（授業の際に配布）</p> <p><input type="checkbox"/> 授業後に、配布物あり（ に配布）</p>
授業日の集合 時間・場所	藤田小学校 校長室 12時45分（授業開始の15分前）
お越しになる 交通手段	車
謝金	〇〇〇〇円程度
その他	<p>【ご持参いただくもの】 ベビー人形（まが玉赤ちゃん） 妊婦ジャケット 子宮（月経モデル） 新生児7体（みんなで抱っこ） 卵子～胎児の絵パネル 紙芝居（おへそ） 胎盤モデル</p> <p>【こちらで準備しておく物】 おりがみ 1/4 針の穴開ける×人数分（済）</p> <p>【確認しておくこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「精子と卵子はどうやって出会うの？」と聞かれたとき、性交のことを答えていか？ ・宿題で「自分が生まれた時のこと」など保護者にインタビューさせてよいか？

すくすくテープについて

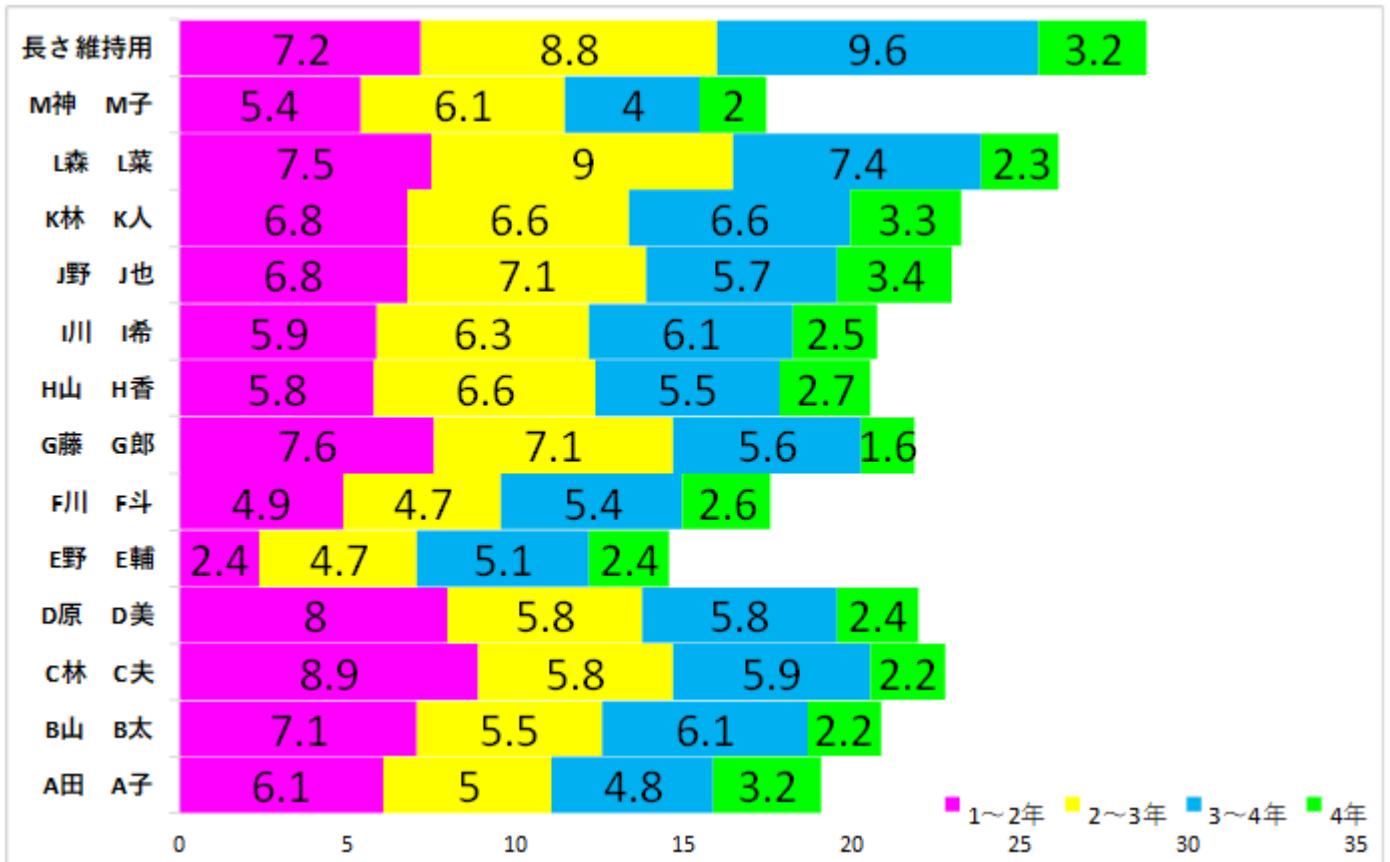
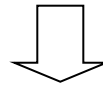
児童に体の発育を「自分事」として捉え、「体感」してもらうために、小学校1年生4月～4年生最終身長（今回は授業実施が11月だったため、4年生9月）までの伸びを表した「すくすくテープ」を授業で使用した。

児童全員分のテープを効率よく作成するために、保健室の機能とICTを活用し、児童の身長データのを入力すると、伸びの実寸大のグラフが表示されるExcelデータを作成した。

【すくすくテープの作り方】

- ①Excelの水色になっているセルに
「児童名」「1年4月身長」「2年4月身長」「3年4月身長」
「4年4月身長」「4年最終身長」を入力する。
(赤いセルや、他のセルは操作しない)
- ③データがグラフに反映されるので、グラフを選択する。
(グラフの上で1回クリック)
- ④Excel左上、「ファイル」→「印刷」で印刷。
その際に印刷プレビューがグラフだけになっているか確認。
- ⑤A3サイズで印刷すると実寸大で印刷可能。

	A	ECCE	F	G	H	I	J
1	名前		1年	2年	3年	4年	4 9月
2	A田 A子		114.2	120.3	125.3	130.1	133.3
3	B山 B太		120.5	127.6	133.1	139.2	141.4
4	C林 C夫		123.7	132.6	138.4	144.3	146.5
5	D原 D美		111.2	119.2	125	130.8	133.2
6	E野 E輔		114.3	116.7	121.4	126.5	128.9
7	F川 F斗		109.4	114.3	119	124.4	127
8	G藤 G郎		116	123.6	130.7	136.3	137.9
9	H山 H香		127.5	133.3	139.9	145.4	148.1
10	川 希		115.4	121.3	127.6	133.7	136.2
11	J野 J也		117.2	124	131.1	136.8	140.2
12	K林 K人		124	130.8	137.4	144	147.3
13	L森 L菜		126.1	133.6	142.6	150	152.3
14	M神 M子		120.5	125.9	132	136	138
15	長さ維持用		116.8	124	132.8	142.4	146.8
16							



⑥テープを個人別に1本1本切り分け配布（下記のようにして） ※実物は実寸大



(中学校部会)

令和6年度埼玉県「性に関する指導」(保健教育) 授業研究会開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科(保健体育科)の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和6年10月16日(水)

4 会 場 加須市立昭和中学校(加須市北小浜70)

- 5 参加者 (1) 加須市立小・中学校、県内特別支援学校(中学部設置)の教職員(教諭・保健体育科教諭、保健主事、養護教諭等)
※加須市立小・中学校においては各学校1名参加してください。
(2) 東部教育事務所(北埼玉地区)管内市教育委員会の指導主事等

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|-----------|
| (1) 受付 | 13時00分～ | (2号館入口) |
| (2) 開 会 | 13時20分～13時35分 | (大会議室) |
| (3) 公開授業 | 13時40分～14時30分 | (教 室) |
| (4) 研究協議 | 14時50分～16時20分 | (大会議室) |

7 公開授業

学年	授業者	单元名
3年	久保 あかね 教 諭	「健康な生活と疾病の予防」 性感染症とその予防

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 幹	脇田 一亮
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 事	金井 孝太
埼玉県教育局東部教育事務所	指 導 主 事	堀江亨一郎
加須市教育委員会学校教育課	主幹兼指導主事	岡戸 亮

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部長	委員長	戸部 秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
志木市立志木中学校養護教諭	委員	力丸真智子
熊谷市立熊谷東中学校教諭	委員	今成 友美

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・お車でお越しの際は、敷地内の中庭に駐車してください。なお、国道125号側の北門から車では入ることはできません。南門よりお入りください。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

地図を掲載していましたが、実施報告書上では省略します。

右のQRコード
を読み込むと、ホ
ームページの地図
案内にリンクしま
す。



1 指導内容の系統性

小学校では、インフルエンザ、結核、麻疹、風疹、結核などを適宜取り上げ、病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体の発生源をなくしたり、移る道筋を断ち切ったりして病原体が体に入るのを防ぐこと、また、予防接種や適切な運動、食事、休養及び睡眠をとることなどによって、体の抵抗力を高めておくことが必要であることを学習している。

2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要1) 感染症は、

要2) 病原体が主な要因となって発生することについて理解できるようにする。

要3) 発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて理解できるようにする。

解1) 感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることについて理解できるようにする。(例示：結核、コレラ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎、麻疹、風疹)

解3) ①消毒や殺菌等により発生源をなくすこと、②周囲の環境を衛生的に保つことにより感染経路を遮断すること、③栄養状態を良好にすることや、予防接種を行い身体の抵抗力を高めることで予防できることについて理解できるようにする。また、感染症にかかった場合、①疾病から回復すること②周囲に感染を広げないために、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて理解できるようにする。

《本時》3 / 4時間

解2) ①細菌やウイルスなどの微生物が病原体、②温度、湿度などの自然環境、③住居、人口密度、交通などの社会環境、④主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し、感染症が発病することについて理解できるようにする。

解4) エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路について理解できるようにする。

解5) 感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。感染を予防するには、①性的接触をしないこと、②コンドームを使用することなどが有効であることにも触れるようにする。

3 知識を活用した学習 (3/4)

第1時では「生命 (いのち)」についての学習と結びつけながら、感染症の様々な条件や、その予防策、かかった場合の対処法について学習し、第2時では感染症には3つの予防策があること、感染症にかかった場合は、周囲に感染を広げないためにできるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを学習した。感染症の授業で得た知識をもとに、性感染症の基礎知識や予防、感染リスクを軽減する方法など、正しい知識を身につけ、その知識を自分事として理解すると共に、今後の生活で生かしていけることを目指している。

導入

感染拡大実験ということを伝えず、ゲーム感覚でウォーミングアップを行う。授業途中の感染拡大の学習につながるようにする。前時までに学習した、性感染症の振り返りと、1年時に学習したスライドを使用し、「性」に関する学習をする意味を確認する。

【本時の課題】 性感染症を予防するには、どうすればよいだろうか？

展開 1

習得①

性感染症の感染経路が性的接触であることを確認する。また、性に関するアンケート結果から、異性に対する興味や、相手に触れたいという気持ちが心の成長と共に増えていることを交えながら、感染拡大についての理解を深める。

方法①

事前に3学年全員を対象におこなった、性に関するアンケートの結果を確認する。
感染拡大実験の意図を伝え、使用した透明の液体(水+水酸化ナトリウム)が入ったコップに、フェノールフタレイン溶液を垂らし、結果を確認する。

展開 2

習得②

性感染症の種類を3つ(性器クラミジア、梅毒、性器ヘルペス)の異なった特徴や、似ている特徴があること、症状で男女の違いがあることなど、具体的な症状について深く学ぶ。そして、疾病概念や感染経路、性感染症には正しい予防方法があることを学習し、自分ごととしてとらえられる様にする。

方法②

主な3つの性感染症の中から、指定されたものをグループで要点をまとめる。教員が用意した資料を活用し、ねらいから脱線しないようにする。最後に号車ごとに発表し、具体的な知識を深める。習得した知識を自分の生活と重ね合わせながら、今後はどのような行動をしたらよいか考え、ワークシートに具体的に記入する。

評価 【知識・技能】(観察・ワークシート)

性感染症の予防や、感染リスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりできる。

まとめ

習得①

授業を通して学んだ知識を、自分事としてとらえられるよう、まとめの話をし、より深い学びにする。次時の学習につなげる。

方法①

授業を通して学んだ知識を、自分の今後の生活で正しく活用するためには、どのような行動をしたらいいのか考え、まとめる。

令和6年10月16日(水) 第5校時 教室
第3学年6組 35名
指導者 教諭 久保 あかね

1 単元名 (1) 健康な生活と疾病の予防「性感染症の予防」

2 単元について

本単元では、人間の健康は主体と環境が関わり合うこと、疾病を予防するためにはそれらに関わる要因に対する適切な対策があることを学び、現在だけでなく生涯を通じて健康な生活を送れるよう、主体的に取り組む態度を身に付けることをねらいとしている。

中学生は、体は大人へと近付いているが、精神的、社会的には未成熟である。生涯を通じて健康を保持増進するための、正しい知識を学ぶために、また、「性」に関する内容を正しく学ぶ機会が少ない生徒にとって、本単元は生徒が自分自身や大切な人を守るために、必要な内容である。不確実な情報が錯綜する世の中で、正しい情報を見分ける力を身に付け、それを自分ごととして捉え、それらの予防や課題解決に向けて思考・判断するとともに、適切に行動する力を身に付けさせたい。

3 生徒の実態

(1) 知識及び技能

(掲載省略)

(2) 思考力、判断力、表現等

(掲載省略)

(3) 学びに向かう力、人間性等

(掲載省略)

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

1年時に「心身の機能の発達と心の健康」を学んでいる。本学習では1年時の学習の振り返りや、前時までの内容（感染症の広がり・予防）との繋がりを持たせ、「生命（いのち）」についての学習と結びつけながら、自分ごととして理解するとともに、性感染症の基礎知識や予防、感染リスクを軽減する方法など、正しい知識を身に付け、その知識を今後の生活で生かしていけるような授業を展開する。

(2) 思考力、判断力、表現等

小グループで調べ学習を設定し、「性感染症」に関する認識やそれぞれの特徴の違いを発見させ、さらに予防策を知ることで、正しい知識を正しい判断のもと発揮する大切さを学ばせる。また、ゲーム感覚で感染拡大実験を行い、「性感染症」や「性に関する問題」の加害や被害に遭わないようにする態度を育てる。さらに、「性」に関して困ったときの正しい対処法など、自分で思考判断し、実行できる能力を育成する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

「性」の内容を扱うことに関して、「他人事」ではなく「自分にも起こりうる問題」として捉えることが重要になる。「性感染症」の調べ学習では、発言しやすいように小グループで行い、簡単な資料を使用しながら自分の意見や考えを取り入れることで、自分ごととして捉えさせる。そして、「今後の生活でどのような行動に気を付けることが大切か」という課題や考えを主体的に深められるように働きかけたい。

5 単元の目標

- (1) 感染症は病原体が主な要因となって発生し、自然環境や社会環境も関わっていること、また、感染リスクを軽減する効果的な予防方法について、理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、生活上で感染することの課題を発見し、習得した知識を活用して科学的に思考・判断し、表現することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 健康な生活と疾病の予防について、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、自主的に粘り強く学習に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 評価規準

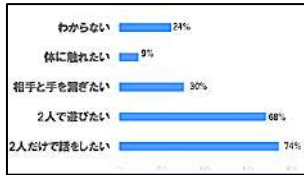
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生し、様々な条件だけでなく、環境も関わっていることや、その予防策及び感染症にかかった場合の対処について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②エイズや性感染症の疾病概念や感染経路及び感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①健康と環境に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、生活上で感染することへの課題を発見し、習得した知識を活用して思考・判断し、表現している。</p> <p>②健康と環境について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話あったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて伝え合っている。</p>	<p>①学習内容に感心をもち、資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全4時間） 本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>【感染症の広がり方】</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症は、病原体が主な要因となって発生し、様々な条件だけでなく、環境も関わっていることや、その予防策及び感染症にかかった場合の対処について理解できるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時のねらいを確認 2 命についての動画視聴・アクティブタイム 3 感染症の種類や特徴について 4 感染経路・条件について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病原体の種類によって、感染経路が異なること ・感染症には広がる条件があること </div> <p>5 本時の学習の確認・振り返り・まとめ</p>	①			観察 ワークシート

5 性感染症を知る

- ・性感染症の感染経路の確認をする。
- ・アンケート結果の確認をする。



- ・感染拡大実験の結果の確認をする。

<予想される反応>

- ・知らない間に感染していて怖い。
- ・驚き。

6 性感染症の調べ学習、発表（グループ活動）

- ・4人程度のグループになる。
- ・資料を使用し、担当する性感染症の特徴を調べる。
- ・まとめ用紙にまとめる。
- ・号車ごとに担当した性感染症の特徴について調べた内容を発表する。
- ・まとめ用紙を黒板に貼る。



<予想される反応>

- ・性感染症は種類によって特徴が違う。
- ・似たような特徴もある。
- ・主な症状で男女の違いがある。

7 予防方法を知る

- ・性感染症を防ぐ3つの予防策を説明する。

主たる学習内容（知識）

- ・性感染症の疾病概念や感染経路
- ・性感染症には正しい予防方法があること。
- ・感染した場合、どうするのか考える。
- ・自分ごととして捉え、今後はどのような行動をしたらよいか考え、ワークシートに具体的に記入する。

<予想される反応>（ワークシート）

- ・正しい知識をもって、正しい行動ができるようになる。
- ・大切な人を守れるようになりたい。
- ・将来のことを考えて、予防策をしっかり頭に入れて行動したい。 など

○スライドを用いて、性感染症の感染経路が性的接触であることを確認する。また、性に関するアンケート結果から、異性に対する興味や、相手に触れたいという気持ちが、心の成長と共に増えていることを交えながら、感染拡大について説明をする。

○ウォーミングアップで行った感染拡大実験の意図と理由を伝え、結果を確認する。

○スライドで調べ学習の流れや発表方法を説明し、すぐにグループ活動を開始させる。

○性感染症の主な3つの性感染症（性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症）をグループで調べ、まとめ用紙に特徴をまとめさせる。

○教員が用意した資料を使用させる。

○一回手を止めさせてから、発表する時の注意点を伝え、スムーズに発表できるようにする。

○時間を見て、全体発表するグループを指示する。

○自分ごととして捉えられるように説明をする。

○感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考えさせる。

○30秒で記入。書けるところまででいいことを伝える。数人発表させる。

◆性感染症の予防や、感染リスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりできる。
（観察・ワークシート）【知識・技能】

△「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への指導の手立て
・具体的にイメージしやすいようにキーワードをワークシートに記載する。
・机間指導で、助言を行う。
◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿
・自分のこととして捉え、今後の生活でどのように活かすのか、具体的な内容を考え、まとめることができる。

展開
35分

まとめ 5分	8 確認の問題 ・ワークシートの最後の問題を解く。	○時間配分を考えて問題を行わせる。
	9 まとめ ・教員がまとめの話をする。 ・次時の説明をする。	○振り返りがかねて、教員がまとめの話をし、今後の生活について考えさせる。 ○次時の学習内容の「エイズ」に軽く触れる。
	10 号令・挨拶	○元気に挨拶をさせる。

9 資料等

1 保健 「性感染症」について

2 保健 ウォーミングアップ ジャンケン水取りゲーム

3 保健 「性」について 「性」と聞いて何を思う？

4 性について(復習) 性 = 命 の勉強 中1の時に勉強しました。

5 性について(復習) 人間のプライベートパーツとは？

6 性について(復習) 自分以外の人に勝手に触ったり、触らせたり、見せようしたり、見せたりしては絶対いけない体の部分

7 性について(復習) 「プライベートパーツ」を知っていますか？

8 性について(復習) 口 胸 性器 お尻 人の『命』に関わる場所

9 性について(復習) 例えば... 友達とのふざけ合いの中でプライベートパーツが使われることがありますでしたか？

10 取り返しのつかない 犯罪被害に巻き込まれることも

11 性について(復習) 性や性器は 人権そのもの 大切にする必要があります

12 性について(復習) 選択に迷ったり困った時、正しい知識はきつとあなたの役に立ちます。

13 性について(復習) 大切な人を傷つけないため、自分を守るため、正しい知識・行動

14 保健 大切な人の命を守るために 性感染症について正しく学ぼう

15 性感染症の予防 学習課題 性感染症を予防するためにはどうすればいいだろう？

16 性感染症の予防 感染症 性感染症

17 性感染症の予防 性感染症 性的接触 によって感染する感染症

18 性感染症の予防 アンケート結果より 性的接触 によって感染する感染症

19 性感染症の予防 補足 性的接触 によって感染する感染症

20 性感染症の予防 補足 性的接触 によって感染する感染症

21 性感染症の予防 性的接触 によって感染する感染症

22 性感染症の予防 性的接触 によって感染する感染症

23 性感染症の予防 主な性感染症 3つ

24 性感染症の予防 まとめ方

25 性感染症の予防 発表方法

26 性感染症の予防 制作時間10分程度

27 性感染症の予防 様々な特徴の性感染症を知ることはできたかな？

28 性感染症の予防 その他の性感染症

性感染症の予防 感染しないために

大切 正しい知識を知っておくこと。
正しい知識は、自分、パートナーのことを守ってくれる。

大切 コンドームを正しく使用する。
正しく使用することで、性感染症を防ぐことができます。

大切 性的接触を避けること。
正しい判断と行動を、安全なパートナーを。

29 ☆

性感染症の予防 感染してしまった場合

性感染症は自然に治らない

Q: 自分の身に起きたらどうする? /

30 ☆

性感染症の予防

の治療を受ける。

・放置すると不妊症などの原因。
・尿道や卵管などに炎症。
・母親から胎児に感染し、流産や早産の原因になることもある。

31 ☆

性感染症の予防 しっかり考えて欲しいこと。

「他人事」ではなく「自分の身にも起こりうる問題」なのです。

32 ☆

性感染症の予防 しっかり考えて欲しいこと。

今回の学習をふまえて、自分はこれから、どのような行動をしたらよいか? 考えてみましょう。

考えを深めよう キーワード: 正しい知識、判断、守る、子ども、責任、予防

33 ☆

性感染症の予防

確認の問題を行う

34 ☆

性感染症の予防

大人になるとは? そう遠くない未来、「自分で決める」ことが一人一人に求められていることを考える

35 ☆

性感染症の予防

大人になるとは? 私たちの命、私たちの健康を「私」が守るためには、正しい知識と行動が、本当に大切なのです。

36 ☆

性感染症の予防

次回 HIV エイズについて

37 ☆

学習日 月 日 ()

『性感染症の予防』

3年 組 () 名前: _____

<ねらい>

性感染症の予防や、感染リスクを軽減する方法を身につけよう

性感染症

1、性感染症とは?

感染者の _____ 液、 _____ 液、 _____ 液が _____ (感染経路) によって、粘膜 や 皮膚の傷口 を _____ 通して感染する※疾病のこと

※疾病…疾病とは医師から診断を受け、治療が必要であると判断されたもののことを表す。

○ 感染しても _____ しない場合や、発病しても _____ がない場合もある。

○ 気が付かないうちに _____ する危険性がある。

【記入ワード】 発病 自覚症状 感染拡大

2、主な性感染症を知ろう **アクティブタイム**

- ・まとめ用紙1~2枚
- ・役割を決め、資料から情報をぬきだす。
- ・まとめ用紙に簡単に記入する。

<発表の流れ>

名前 _____

- ・(): 私たちの班は _____ について資料から情報を集めました。
- ・(): _____ は、OOという特徴があります。また… (自由発表)
- ・(): 感想は… (簡単で良い、言えたら良い。)
- ・(): これで発表を終わりにします。

メモ

○発表を聞いて、特徴などわかったことをメモしましょう。

① 性器クラミジア感染症	② 梅毒	③ 性器ヘルペス感染症

3、性感染症の予防策

- ① 正しい () を知っておく。 → 正しい知識は自分とパートナーを守ってくれます。
- ② () を正しく使用する。 → 正しく使用することで、性感染症を予防することができます。
- ③ () を避ける。 → 正しい判断と行動を、安全なパートナーを。

【記入ワード】 知識 コンドーム 性的接触

○ 性感染症は 自然 に治りません。

(1) もしあなたが感染してしまったら、どうしますか?どのような行動を起こしますか?

大人へと自立していく君達、「性感染症」を「他人事」ではなく「自分の身にも起こりうる問題」として捉えましょう。

(2) 今回の学習をふまえて、あなたはこれからどのような行動をしたらよいか考えてみましょう。

【キーワード】 将来・パートナー・正しい知識・正しい行動・判断・守る・子ども・責任・予防

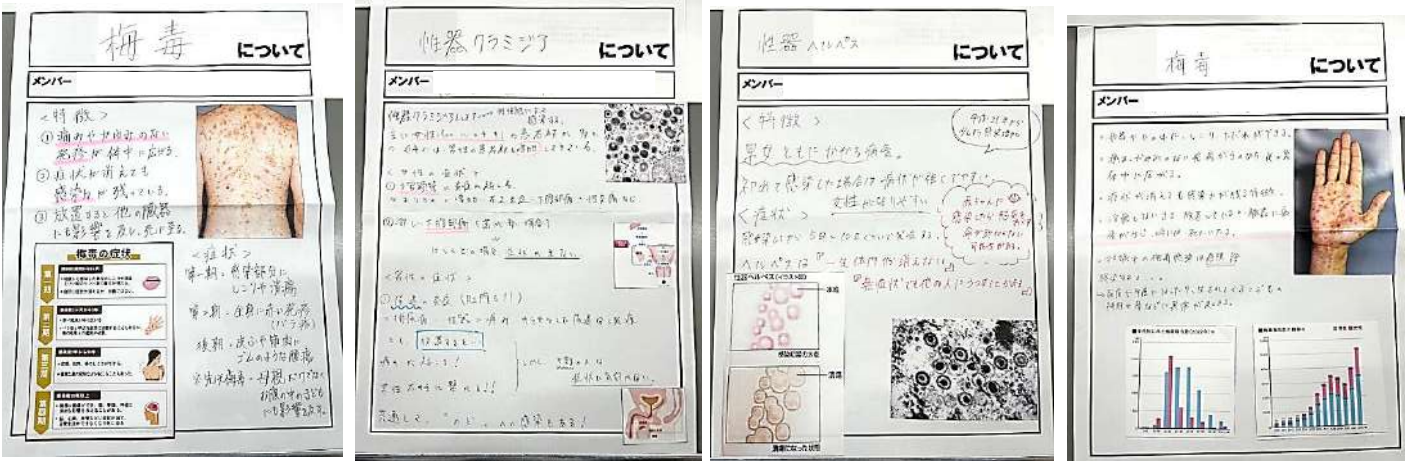
10 授業の様子 ウォーミングアップ



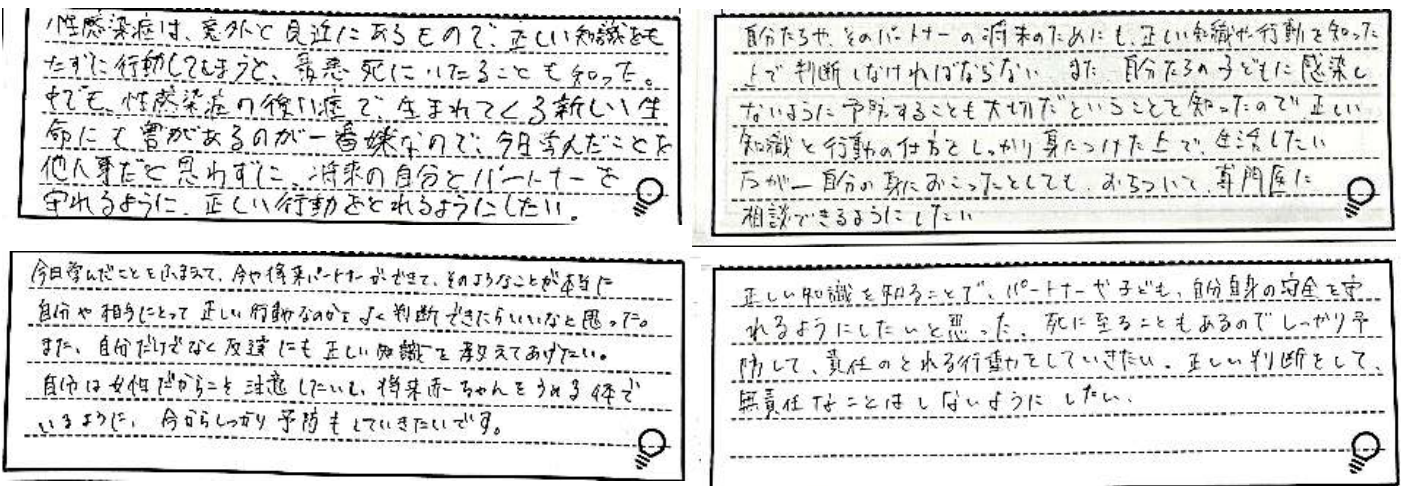
感染症の調べ学習、発表



発表まとめ資料



生徒の感想（学習プリントより）



11 外部講師の活用について（活用方法などの案）

- 終末のまとめにて、具体的な性感染症の話を見護師や、養護教諭が行う。
- 外部指導者の方とオンラインをつないでお話をいただいたり、動画を撮影して流したりする。

(高等学校部会)

令和6年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和6年10月23日（水）

4 会 場 県立進修館高等学校（行田市長野1320）

5 参加者 県内公立高等学校及び特別支援学校の教職員（保健体育科教諭、保健主事、養護教諭等）

※特に、採用後1～4年目で、毎年開催される本授業研究会にこれまで一度も参加したことのない者（科目保健授業担当者）の参加について、御配慮願います。

6 日 程

(1) 受 付 13時00分～ (西職員玄関（事務室前）)

(2) 公開授業 13時25分～14時15分 (1F：大会議室)

(3) 全体会 14時30分～14時50分 (1F：西D講義室)

(4) 研究協議 14時55分～16時20分 (1F：西D講義室)

※会場は運営上、講義室A～C、大会議室のいずれかに変更する場合があります。

7 公開授業

学年	授業者	単元名
1年	梨本 雄太 教諭	(1) 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防 性感染症・エイズとその予防

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	荻原 篤大
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	薬師寺將二
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 査	平尾 勇樹
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	高沢 聖子

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委員長	戸部 秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
県立北本高等学校教諭	委員	川尻鈴ノ介
県立三郷高等学校養護教諭	委員	宮尾 仁美

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車場には限りがありますので、可能な場合は公共交通機関で来校願います。
- ・お車でお越しの際は、東4号館前の東駐車場に駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下の方法でお願いします。

県立進修館高等学校への御案内

地図を掲載していましたが、実施報告書上では省略します。

一般参加者の駐車場（東駐車場）御案内



- 校舎が道路を挟んで東西に分かれています。公開授業及び研究協議は西校舎で実施します。
- 一般参加者は上記の通り、東4号館前の東駐車場をご利用ください。
- 図書館前の駐車場は、指導者及び役員（「性に関する指導」課題解決検討委員）が使用します。

1 指導内容の系統性

中学校では、「健康な生活と疾病の予防」において、健康の保持増進や疾病の予防をするためには、食時、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること、生活行動と健康に関する内容として喫煙、飲酒、薬物乱用を取り上げ、これらと健康の関係を理解できるようにすること、また、疾病は主体と環境がかかわりながら発生するが、疾病はそれらの要因に対する適切な対策、例えば、保健・医療機関や医薬品を有効に利用することなどによって予防できること、社会的な取組も有効であることなどを学んでいる。

2 指導内容の明確化

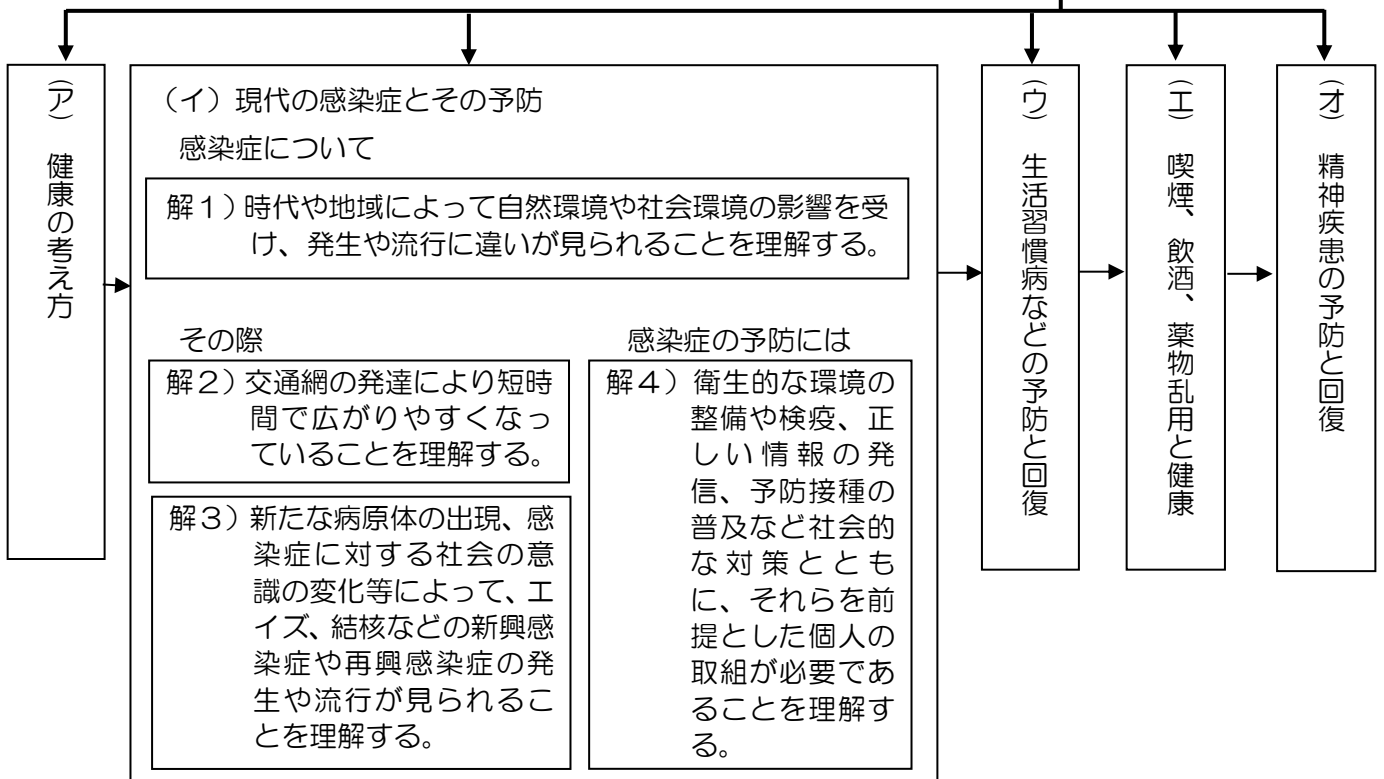
要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

ア 知識及び技能

要1) 我が国の疾病構造や社会の変化に対応した健康の保持増進のためには、一人一人が健康に関して深い関心を持ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であると理解できるようにする。

要2) 一人一人がヘルスプロモーションの考え方に基づいた現代社会の健康課題を理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。



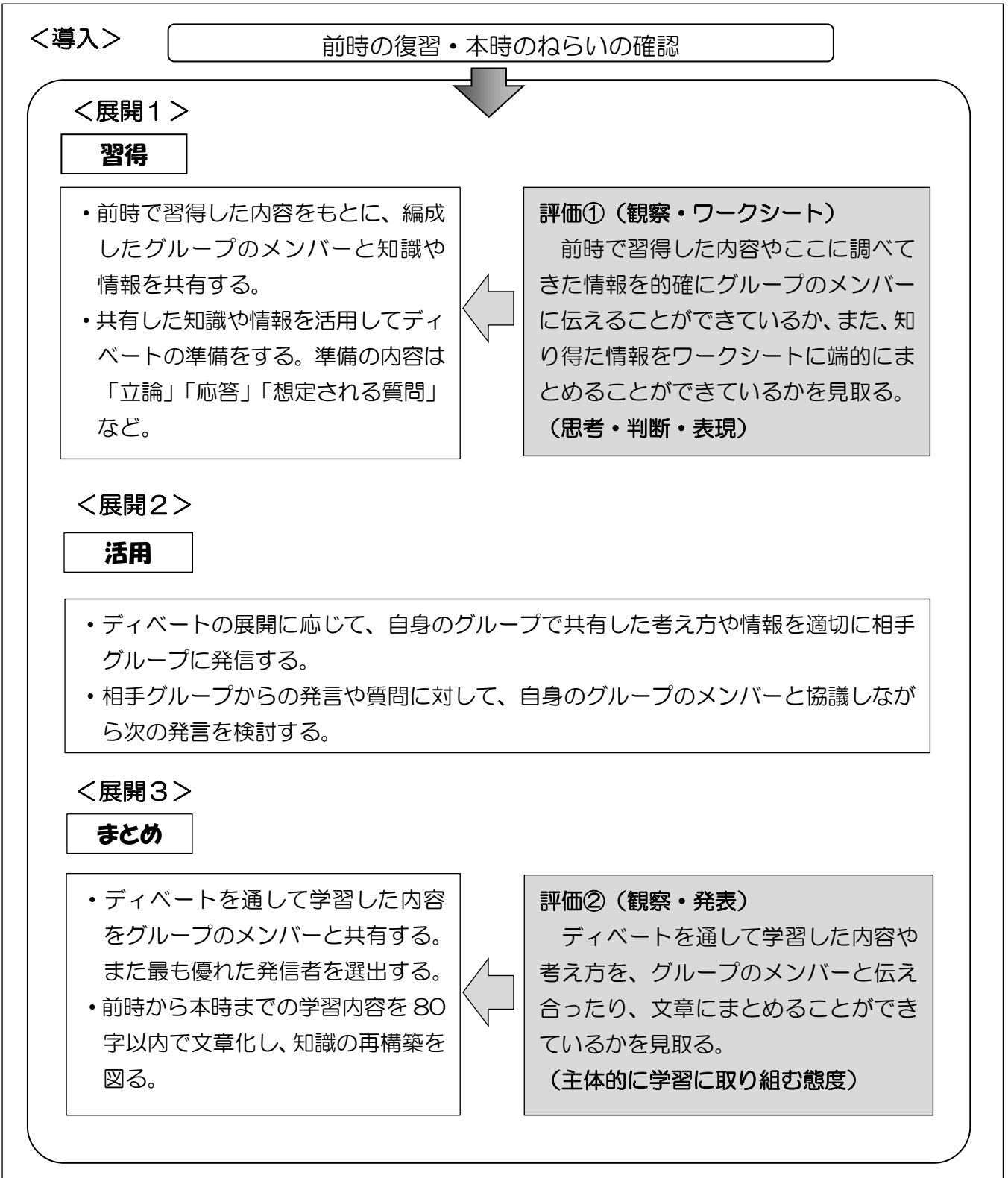
《指導案作成》
17 / 19時間

3 知識を活用した学習

前時までに、本時で扱う内容（性感染症・エイズ）に関連した内容について、スライドやワークシート、およびディスカッションや調べ学習などのグループ活動を用いて学習している。また事前アンケートを実施して、性に関する知識・理解を調査し、そのデータに基づいた授業準備をしている。

本時では、前時の内容および事前アンケートを参考にして、『ディベート』を活用した授業を展開する。ディベートでは、前時までに習得した性感染症・エイズの知識をもとに、生徒一人一人が性について思考・判断・表現できるようにする。

こうした活動を通して、エイズを予防するためには正しい知識を身に付けること、そして一人一人が当事者意識を持った行動をとることが重要であると理解できるようにする。



1 単元名 「現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防 17 性感染症・エイズとその予防」

2 単元について

多くの子どもが思春期（第二性徴）を迎える高校段階において、性に関する知識・情報を正しく理解することが必要になる。その一環として、保健の学習における性感染症・エイズについて知識や考え方をしっかりと深めていくことが大切である。性に関する教育（以下「性に関する指導」とする）は主に3単元で扱われる内容だが、なぜ性感染症に感染するのか、性感染症になると自他ともに何が起きるのかという根本的な面を早い段階で理解させることが求められる。

3 生徒の実態

(1) 知識及び技能

(掲載省略)

(2) 思考力、判断力、表現力等

(掲載省略)

(3) 学びに向かう力、人間性等

(掲載省略)

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

中学までの段階で一定の性に関する指導を受けてきていることを想定し、学習指導要領に則した学習内容を取り扱う。本時では主に「ディベート」で授業を展開することになるので、生徒一人一人が持っている知識を正しく使うことができるかという点について丁寧に指導を行う。

(2) 思考力、判断力、表現力等

昨今の性の在り方・考え方は多様性を増してきており、性に関する指導を一括りで実施することが困難になっている。授業中の言葉の使い方、表現の仕方などに注意し、生徒一人ひとりが自分事として授業に参加できるように配慮する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

思春期の後半で、性について興味関心を持つ生徒が多いと予想する。一方で、性に関する拒絶や、自らの性自認がまだ十分でない生徒も一定数いることも考えられる。

5 単元の目標

(1) 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることや、感染症のリスクを軽減し予防する対策とともに、個人の取組が必要であることについて、理解できるようにする。特に性感染症においては、予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。
〈知識及び技能〉

(2) 自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、説明することができるようにする。
〈思考力、判断力、表現力等〉

(3) 「性感染症・エイズとその予防」について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。	①性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明している。	①性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

※「15 現代の感染症」「16 感染症の予防」に関する評価規準は省略しています。

7 単元の指導と評価の計画（全2時間） 本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解できるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 本時の課題について考える。 学習のねらいを知る。 性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解する。 本時の学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> 性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策 </div>	①			観察 ワークシート
②	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明することができるようにする。 性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 前時の学習を振り返る。 本時の学習のねらいを知る。 ディベート学習での活動を通して、性感染症とエイズが他の感染症と異なる点について考える。また性感染症・エイズを自分事として捉え、今後どのように向き合っていくかを考える。 前時と本時を通じた考えをまとめる。 		①	①	観察 ワークシート



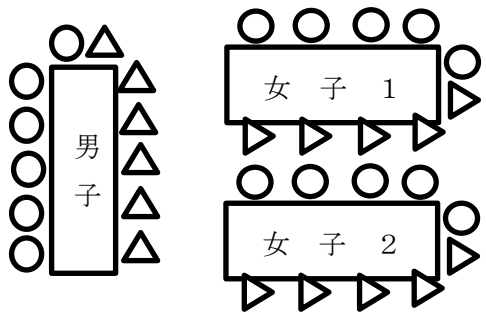
8 本時の学習と指導（2/2）



(1)ねらい

- 性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明することができるようにする。
〈思考力、判断力、表現力等〉
- 性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

(2)準備・・・教科書、学習プリント、タブレットPC

(3) 展開

	学習内容・学習活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 7分	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法についてグループ内で復習する。 <p>2 本時の学習のねらいを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明することができるようにする。 ・ 性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 	<p>○グループ活動に入りやすいようにあらかじめグルーピングと座席の移動を済ませる。</p> <p>○前時の学習カードを振り返り、キーワードや学習のポイントを確認させる。</p> <p>○ディベートの論点がずれないように、本時のねらいを明確に示す。</p>
	<p>【学習課題】 性感染症・エイズと他の感染症の異なる点に気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて、他者に説明できるようになろう。</p>	
展開 35分	<p>3 ディベート学習</p> <p>(1) テーマとグループの確認 <5分></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ テーマ1 「パートナーが交際前から《性感染症》に罹患していたことが分かった。あなたはそのパートナーとは A. 交際を続けますか? それとも B. 別れますか?」 ◇ テーマ2 「パートナーが交際前から《エイズ》に罹患していたことが分かった。あなたはそのパートナーとは A. 交際を続けますか? それとも B. 別れますか?」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 女子20人が4グループに分かれてテーマ1に、男子12人が半分に分かれてテーマ2にそれぞれ取り組む。 (女子は5人組×4グループに分け、AとBそれぞれ2グループの立場に立ってディベートを行う) <p>(2) ディベート前ミーティング <12分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒たちが各自で事前に調べてきた情報をグループの中で共有する。 ・ 情報をもとに『立論』を考える。 ・ 時間があれば、相手側からの質問を想定し、それに対する応答を検討する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) ディベート開始 <15分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いが立論の発表をする。 ・ 相手の立論に対してグループ内で『応答(質問)』を検討し、伝え合う。 ・ 時間内で応答(質問、回答、主張)を繰り返す。 	<p>《グループの座席配置》</p>  <p>○可能であれば本時までにはグループ毎の立論を考えてくる。</p> <p>◆性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明している。 (観察・ワークシート)【思考・判断・表現】</p> <p>△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループのミーティングで、調べてきた情報を正しく伝達・共有させる。ディベートの場面では発言はできなくてもメモはしっかりと取らせ、グループの活動に貢献させる。 <p>◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで共有した情報を丁寧に相手グループに説明することができる。また、相手の発言に対して正鵠を射た応答を考え、伝えている。 <p>○相手の発言は必ずメモを取らせ、グループで話し合いながら応答を検討できるようにさせる。</p>

	 <p>(4) 勝敗の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディベートの内容を受けて客観的に勝敗を決定する。 	<p>◆性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズについて、これまでの学習内容を振り返らせ、確認させる。 <p>◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時と本時の学習内容を踏まえながら、今後自身が性感染症・エイズにかからないための考え方・行動について記述している。
<p>まとめ 8分</p>	<p>4 前時と本時を通した考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出た結論と勝敗をクラス全体で発表させる。 ・性感染症・エイズに感染しないための正しい考え方・行動を80文字以内でまとめる。 	

9 外部講師の活用について（活用方法などの案）

- ・1時間目に、性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について学習する際に、事前にこれらについて医師の立場から話していただく動画作成を依頼しておき、その動画も視聴することで、生徒の理解を深めさせる。（一人一台端末に動画ファイルを共有し、生徒が調べ学習をする中で、視聴できるようにするような手立ても考えられる。）
- ・2時間目のディベートを外部講師に実際に見てもらい、ディベートの総評と合わせて、外部講師の立場から話をしていただく。その後、学習のまとめへとつなげる。

IV 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会

令和6年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 児童生徒の発達の段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
- (2) 各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
- (3) 性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

2 委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。

3 委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

(運営)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、令和7年2月28日までとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。

2 委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

(事務局)

第7条 委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和6年4月26日から施行する。

別 表 (第3条関係) 委員

学識経験者
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

学校健康教育推進事業(「性に関する指導」課題解決支援事業)

【児童生徒を取り巻く状況】

- ・ 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- ・ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

【課題】

- ・ 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- ・ 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- ・ 自他を尊重する心を育むこと。

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会の開催

○ 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。

・ 県における課題の把握

①性感染症

②人工妊娠中絶

③性情報への対処

④家族計画の意義 など

・ 課題解決方法の協議、検討

・ 事業成果の検証

・ 事業成果の普及・啓発(実施報告書の作成)

【構成員】

有識者、学校関係者 等

報告

指導
助言

報告

「性に関する指導」指導者研修会の開催

○ 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催する。

・ 行政説明

・ 実践発表

・ 講演会

※実践発表は、前年度の授業研究会における授業者による。

「性に関する指導」授業研究会の開催

○ 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施する。

・ 校種別に授業研究会を開催

・ 研究協議 等

学習指導要領に基づく内容で、外部講師を活用した効果的な指導について単元の中で研究を進める。

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和6年度 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏 名	所 属	職 名
1	委員長	戸部 秀之	埼玉大学教育学部	学 部 長
2	副委員長	岩澤 奈々子	川口市立並木小学校	校 長
3	副委員長	荻原 篤大	教育局県立学校部保健体育課	課 長
4	委員	川尻 鈴ノ介	県立北本高等学校	教 諭
5	〃	梨本 雄太	県立進修館高等学校	教 諭
6	〃	宮尾 仁美	県立三郷高等学校	養 護 教 諭
7	〃	力丸 真智子	志木市立志木中学校	養 護 教 諭
8	〃	久保 あかね	加須市立昭和中学校	教 諭
9	〃	今成 友美	熊谷市立熊谷東中学校	教 諭
10	〃	藤田 晃輔	八潮市立八幡小学校	教 諭
11	〃	塩澤 美保子	本庄市立藤田小学校	養 護 教 諭
12	〃	犬島 未歩	入間市立東町小学校	教 諭

1	事務局	薬師寺 将二	教育局県立学校部保健体育課	主 任 指 導 主 事
2	〃	脇田 一亮	教育局県立学校部保健体育課	主 幹
3	〃	高沢 聖子	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
4	〃	坂上 三四郎	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事

令和6年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業
実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	荻原 篤大
教育指導幹事	大松 武晴
主任指導主事	薬師寺将二
主幹	脇田 一 亮
主査	平尾 勇樹
指導主事	龍野 雅美
指導主事	坂上三四郎
指導主事	高沢 聖子
主事	金井 孝太

令和7年3月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」